ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を
ロン D. バートン
2013-14年度RI会長

Rotary international District 2730
KAGOSHIMA & MIYAZAKI

ガバナー月信 1

Governor's
Monthly Letter

2014
January

第2730地区　心新たにクラブ活性化に情熱燃やす会長さん〈順不同〉

出水RC会長
山﨑幸蔵様

阿久根RC会長
瀬戸祐博様

川内RC会長
若田吉朗様

薩摩川内RC会長
若松和成様

串木野RC会長
有村隆一様

宮之城RC会長
池田昇示様

大口RC会長
原良田佳彦様

伊集院RC会長
久保　等様

加世田RC会長
工藤博美様

枕崎RC会長
上久保慎一様

頴娃RC会長
中村多聞様

指宿RC会長
中園伸宏様

霧島RC会長
丸野史朗様

国分RC会長
宮脇昌也様

国分中央RC会長
川畑隆光様

加治木RC会長
池﨑喜八郎様

姶良RC会長
前田宣久様

志布志RC会長
坂田直喜様

志布志みなとRC会長
下野太志様

串良RC会長
山下義正様

鹿屋RC会長
窪田秀作様

鹿屋西RC会長
北山　勉様

かのや東RC会長
河本正己様

きもつきRC会長
上原樹縁様

南九州大﨑RC会長
楠田利浩様

鹿児島RC会長
内村文泰様

鹿児島南RC会長
宮田一男様

鹿児島西RC会長
長柄英男様

鹿児島東南RC会長
上田平重樹様

鹿児島中央RC会長
小原正信様

鹿児島西南RC会長
森田五男様

鹿児島城西RC会長
永田眞一様

鹿児島東RC会長
前田浩志様

鹿児島北RC会長
喜山修三様

鹿児島SWRC会長
庄司教克様

奄美RC会長
朝沼　榎様

奄美中央RC会長
隈元保文様

奄美瀬戸内RC会長
楢林貴浩様

延岡RC会長
森　憲一様

延岡東RC会長
髙橋　寿様

延岡中央RC会長
池田和子様

日向RC会長
日髙秀和様

日向東RC会長
児玉富喜夫様

日向中央RC会長
北御門　孝様

門川RC会長
黒木浩二様

宮崎RC会長
池ノ上　克様

宮崎西RC会長
増田秀文様

宮崎北RC会長
西本勝博様

宮崎南RC会長
小園隆司様

宮崎中央RC会長
松山春喜様

宮崎東RC会長
久寿米木和夫様

西都RC会長
長谷川孝次様

佐土原RC会長
宮原建樹様

高鍋RC会長
石田喜克様

えびのRC会長
川池光蔵様

小林RC会長
押川公重様

小林中央RC会長
山下武士様

都城RC会長
木脇義紹様

都城北RC会長
佐伯浩一郎様

都城西RC会長
高橋五男様

都城中央RC会長
橋口康雄様

日南RC会長
田島逸男様

日南中央RC会長
横山　正様

串間RC会長
田上俊光様

今月のロータリーソング

我等の生業

作詞：高野辰之
作曲：岡野貞一

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おおロータリアン　我等の集い

ガバナー月信　目次

職業奉仕とリーダーシップ考　大迫　三郎…… 1
第 2730 地区各クラブ会長就任時のご挨拶
■出水 RC 会長　山﨑幸蔵…… 3
■阿久根 RC 会長　瀬戸祐博…… 3
■川内 RC 会長　若田吉朗…… 4
■薩摩川内 RC 会長　若松和成…… 5
■串木野 RC 会長　有村隆一…… 5
■宮之城 RC 会長　池田昇示…… 6
■大口 RC 会長　原良田佳彦…… 6
■伊集院 RC 会長　久保　等…… 7
■加世田 RC 会長　工藤博美…… 7
■枕崎 RC 会長　上久保慎一…… 8
■頴娃 RC 会長　中村多聞…… 8
■指宿 RC 会長　中園伸宏…… 8
■霧島 RC 会長　丸野史朗…… 9
■国分 RC 会長　宮脇昌也…… 9
■国分中央 RC 会長　川畑隆光…… 10
■加治木 RC　池﨑喜八郎…… 10
■姶良 RC 会長　前田宣久…… 11
■志布志 RC 会長　坂田直喜…… 11
■志布志 RC 会長　下野太志…… 12
■串良 RC 会長　山下義正…… 12
■鹿屋 RC 会長　窪田秀作…… 13
■鹿屋西 RC 会長　北山　勉…… 13
■かのや東 RC 会長　河本正己…… 14
■きもつき RC 会長　上原樹縁…… 14
■南九州大崎 RC 会長　楠田利浩…… 15
■鹿児島 RC 会長　内村文泰…… 15
■鹿児島南 RC 会長　宮田一男…… 17
■鹿児島西 RC 会長　長柄英男…… 18
■鹿児島東南 RC 会長　上田平重樹…… 18
■鹿児島中央 RC 会長　小原正信…… 19
■鹿児島西南 RC 会長　森田五男…… 19
■鹿児島城西 RC 会長　永田眞一…… 20
■鹿児島東 RC 会長　前田浩志…… 20
■鹿児島北 RC 会長　喜山修三…… 21
■鹿児島サザンウインド RC 会長　庄司教克…… 21
■奄美 RC 会長　朝沼　榎…… 22
■奄美中央 RC 会長　隈元保文…… 22
■奄美瀬戸内 RC 会長　楢林貴浩…… 23
■延岡 RC 会長　森　憲一…… 23
■延岡東 RC 会長　髙橋　寿…… 24
■延岡中央 RC 会長　池田和子…… 24
■日向 RC 会長　日髙秀和…… 25
■日向東 RC 会長　児玉富喜夫…… 25
■日向中央 RC 会長　北御門　孝…… 26
■門川 RC 会長　黒木浩二…… 26
■宮崎 RC 会長　池ノ上　克…… 27
■宮崎西 RC 会長　増田秀文…… 27
■宮崎北 RC 会長　西本勝博…… 28
■宮崎南 RC 会長　小園隆司…… 28
■宮崎中央 RC 会長　松山春喜…… 29
■宮崎東 RC 会長　久寿米木和夫…… 30
■西都 RC 会長　長谷川孝次…… 30
■佐土原 RC 会長　宮原建樹…… 31
■高鍋 RC 会長　石田喜克…… 31
■えびの RC 会長　川池光蔵…… 32
■小林 RC 会長　押川公重…… 33
■小林中央 RC 会長　山下武士…… 33
■都城 RC 会長　木脇義紹…… 33
■都城北 RC 会長　佐伯浩一郎…… 34
■都城西 RC 会長　高橋五男…… 35
■都城中央 RC 会長　橋口康雄…… 35
■日南 RC 会長　田島逸男…… 36
■日南中央 RC 会長　横山　正…… 36
■串間 RC 会長　田上俊光…… 37
地区クラブ研修委員会のご報告 …… 38
ロータリー財団 …… 40
米山学友会報告 …… 41
女性活性化委員会(なでしこ2730委員会)からのご報告 …… 41
トピックス …… 42
11 月の出席率報告 …… 43
11 月の寄付金傾向 …… 44
入退会報告 …… 45
文庫通信 …… 45

職業奉仕とリーダーシップ考

国際ロータリー第2730地区
2013～2014年度　ガバナー
大　迫　三　郎

職業奉仕を実践する上でリーダーシップは必須の要素であります。とは云えリーダーとしての考察は奥深く、思索に富んだものです。

リーダーは知性、勇気、行動力、判断力、企画力、指導力など多くの条件が必要です。そんな条件は当然としても、さらに必要なものとして次の要素が考えられます。

⑴　自分の愚かさ加減に耐える能力
⑵　部下や他人の愚かさ加減に対して耐える能力
⑶　部下や他人のいい加減な批判に耐える能力
⑷　自分の賢さ加減をひけらかさない能力
⑸　部下や他人のいい加減な意見にも耐える能力

ロータリーはリーダーシップの必要性を中核的価値観の一つにあげています。中核的価値観は奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップとどれ一つとっても大切なものばかりです。職業奉仕にとってリーダーシップは大事な要素であり事業の盛衰に拘わります。しかし前述の５つの条件を満たすには仲々の努力が必要です。特に事業を経営するリーダーにとっては、更に大事であります。

⑴　リーダーは全てが完全ではありませんし間違う事も多々あります。自分が起こした間違いを素直に認めて正して行くのは当然です。しかし間違いを起こした自分の愚かさを、たとえ恥をかいても卑下する必要は有りません。良かれと思って勇気と情熱で行動し指示した事が間違いであっても、それを乗り越えて次のより良い方策に立ち向かう耐える能力

が必要です。恥をかくことで、それをバネにして賢くなるし、更なるファイトが出て来ます。そこにリーダーとしての向上があります。

⑵　次ぎに部下又は他人に対し、その愚かさ加減に気持ちが厳しくなる事があります。それに耐える事もリーダーの要件です。人間は、特にリーダーと云われる人は、若い頃から多くの仕事や事象に対峙し乗り越えて来た人達です。自分に対する自信と考察と行動力に自信満々です。そんな人から部下や他人の行動は愚かに見えるかも知れません。しかし、もし自分がやってみても考える程に物事が進むとは思われない場合が多いのです。部下がけっして愚かでない場合もあるのです。自分の感情を乗り越え耐える能力がなければなりません。

⑶　リーダーは正しい行動や思考であっても部下であれ他人であれ、どこかで誰かが必ず批判をいたします。人間は他人を批判する場合に限り能力を400％発揮すると云われています。真のリーダーとはそれ等を耐えて乗り越える力量が問われますし、それは素晴らしい人間力の成長になり人格の陶冶になります。

⑷　リーダーは素晴らしい能力が潜在しています。しかし部下や他人は表面的にはリーダーの力を分からない場合があります。リーダーの潜在力は必ず部下や他人は自ずと分かって来ますし、賢い部下や他人ほど理解が早いものです。リーダーは自分を誇示する必要はないのです。

⑸　リーダーは部下や他人の、たとえそれが愚かなものであっても提案や意見を快く聞き入れてあげる寛容が必要です。その態度こそが、部下や他人に親しみと信頼を得るのみでなく、逆の方向から見直すチャンスでもあります。何よりリーダー自身の向上になります。

職業奉仕の上でもロータリーの中核的価値観はどれ一つとっても深く思索に富み、又強い繋がりがあります。ロータリーを学び実践し人格の陶冶を目指したいものです。

心意気新たに甦る!!

• 第2730地区各クラブ会長就任時のご挨拶 •

2013－2014年度各クラブ会長の就任時のご挨拶を改めてお届け致します。原稿の入稿状況や、公式訪問・地区大会等の諸事もあり掲載がこの時期となりました。ですが新年を迎えるにあたり、気持ちも新たにクラブ活性化、特に会員維持増強に情熱を込めて目的を達成して戴きたく思います。会長さんの御奮闘を期待いたします。

■出水RC会長　山﨑幸蔵

本年度、出水ロータリークラブ第46代目の会長を務めることになりました。

国際ロータリー2013-2014年度会長ロンD・バートン氏は「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を（ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES)」をテーマに会員増強に力を入れるよう呼びかけられました。2730地区ガバナー大迫三郎氏は、ロータリーの第一の基本目的は職業奉仕であるとして、職業奉仕を実践し、ミッション・パッション・ビジョンでロータリーを充分楽しもうと呼びかけられました。

今年度、当クラブはCLP一年目であり、新しい組織編成の中で今までの歴史の上に新たなロータリーを基づいていく第一歩ではないかと思います。CLPが当クラブにとってより良い方向に向かうよう目標をしっかり設定して実践していきます。

本年度の活動指針として各委員会が下記の方針に伴い目標の設定をして計画的な活動をし、活力のあるクラブを目指します。

① 職業奉仕の理念を基に会員の和を計って例会や親睦活動に取り組み、出席率90％を目指します。

② 会員増強に努める。会員数50名、女性会員5名に。

③ やりがいのある奉仕をみんなで頑張る。特に新世代においては命をテーマに、生かされていること、生きることの意味と感謝の心を持つことを伝える。

④ 広報活動を積極的に行いロータリーのブランド認知に努める。

感動と感謝が私のテーマです。会員の大切なロータリーを任されたことに感謝し一年間一生懸命頑張ります。

■阿久根RC会長　瀬戸祐博

私共の、阿久根ロータリークラブは、1974年創立して、今年度で40周年を迎える事に成りました。この節目の年度に会長を指名されました、瀬戸祐博です。ロータリー歴も浅いので、ロータリーの知識と経験は未熟ですが、自身の出来る範囲内で一年間、一生懸命務めて行きます。

さて、今年度は、通常のクラブ運営と、創立40周年事業の準備と実施

を進めて行く為に、50人の会員が、一人一役の全員参加で、会員が一人でも欠けたらクラブ運営に支障が出てくるのだと思う様、各人の自覚と責任を持って頂ける様なクラブ運営を行いたいです。

その為には、例会への100％出席の回数向上を、目指して行く様に声掛けをして行きたい。全会員で、創立40周年事業を有意義に祝いたいです。4月13日は、皆様も是非来会を。

そして、各会合有るたびに、会員増強を言われています、増員は推進して行きますが、まずは退会者を出さない様な、クラブ運営を行いたいです。

ここ数年を見ると、退会理由として、体調不良と業績衰退が多い、体調不良は休会して治療に専念し、復帰して頂きたい。経営者は孤独なものですが、事業転換や業績衰退の時こそ、ロータリー仲間のアドバイスを聞く機会ではと思う、上は80歳代から下は30歳代と老若男女、50人の異業種が集まっているのが、阿久根ロータリークラブで有る、一人で悩むより50人のロータリー仲間の知識と経験が有れば、少しでも問題解決の糸口と成り、業績回復の機会に成れば、ロータリーの第一の基本的目的「職業奉仕」に繋がり、ロータリー入会の価値と魅力あるクラブ運営を出来る様にして行きたいです。

一年間、会長として各会合への出会は多く成り、自社の仕事とロータリー活動の両立は大変だと思いますが、次年度からの会長の為にも、会長に指名され、会長に成ったから、沢山の方々と出会う機会が有り、楽しく出来たと、一年後に引き継ぎが出来る様に、一年間頑張ります、皆様宜しくお願い致します。

■川内RC会長　若田吉朗

2013～2014年度　クラブ基本方針

青少年奉仕を実践しよう！！

●創立60年を契機にして

川内ロータリークラブは創立60年を迎えます。私達の子供の頃は、近所に住む者が集まり、例えば春には菜の花のほのかな香りに包まれながら、夏には目映いばかりの陽の光のもとで暑さを忘れて野山を駆け回り、川遊びに興じていました。がき大将がいて、時に喧嘩やいじめはあっても大事には至らず、善悪やけじめの判断が自ずと身についたものです。

いま、子供や孫たちの様子はどうでしょうか？

全くとは言いませんが、隣近所、屋外で遊ぶ子供の姿をなかなか見かけなくなりました。その子供たちが集まる場所は家の中？！静かに遊んでいると思いきや、パソコンゲームに夢中になっている姿を見受けます。

次世代を担う子供たち…。彼らが大人になった時に、「貴方の町ってどんな所なの？！」と聞かれて、何と答えるのか気懸かりです。せっかくなら、「行ってみたい！」、「住んでみたい！」と思っていただける位にPRできる人になってもらいたいと考え、青少年向けの事業を企画・実践したいと思います。

「ふるさとに誇りを持てる大人になろう！」をテーマに、「知る」「見付ける」「好きになる」をキーワードに事業を行います。鹿児島から誕生した子供たちに人気の新時代のヒーロー「薩摩剣士隼人」、その監修を手がけた東川龍太郎さんを未知先案内人としてまち歩きツア

ーを行い、ふるさとの宝を見付けます。
　青少年奉仕が、ひいてはロータリークラブの素晴らしさを多くの人達が知っていただくきっかけになれば幸いです。

■薩摩川内RC会長　若松和成

　薩摩川内ロータリークラブ第８代会長を経て、２回目になる第35代会長を務めさせて頂く事になり責任の重大さを痛感しております。
　３月に開催されました会長エレクト研修セミナー（PETS）に参加し、大迫三郎ガバナーのロータリーへの情熱に感銘致しました。「人格の形成と、豊かな人生のために」をスローガンにロータリーの基本的目標は職業奉仕と人格の陶冶であると話されました。職業を通じて家族を守り、従業員を守り、下請けや取引先との公正な取引をし、お客様へ奉仕し、公平な利益を追求することによって安定的な経営が継続されてこそ、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕が可能になり、職業奉仕を通じてロータリーを実践し、みんなの豊かな人生に寄与し、併せて自分自身の豊かな人生を求めたいと言われました。ロータリー活動に於いて、職業奉仕がいかに重要かが納得できました。
　我がクラブは創立34年、会員数25名の平均的なクラブですが、会員の仲間意識、まとまりの良さはどこにも負けないと自負しております。
　ロータリーの永遠のテーマである会員増強に努め、楽しい例会を企画し、例会出席率の向上を図り、職業奉仕の大切さを伝え、会員の資質を高めてクラブの活性化に全力投球していきたいと思っております。

■串木野RC会長　有村隆一

　2013－2014年度の会長を務めさせていただくことになり、会長という責任の重さに身の引き締まる思いです。
　RI会長ロンD.バートン会長は「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」のテーマを掲げられました。このテーマの意味を十分に理解し、会員一人ひとりがこのテーマにチャレンジしていけるように取り組んでまいります。
　串木野RCの今の課題は、会員増強にあります。2年後に創立50周年をひかえ会員ふた桁を目標に会員増強をしなければならないと思います。そのためには、現在導入しているCLPを生かしクラブの充実、改善に役立ててクラブの強化を図り、全ての会員が奉仕の機会を持てるようにすることで活発なクラブにして、大迫ガバナーがロータリーの第一の基本的目的は職業奉仕にある。と言われているように会員がこの目的を共有し目的と使命感を確認しあい奉仕の倫理を追究し実践し個々が魅力あるロータリアンになることで魅力あるクラブにして会員増強をはかっていきます。
《活動計画》
１．会員増強及び退会防止
　　２桁を目標に増強・退会防止に努める。
２．例会の充実と出席率のアップ及び卓話の充実

外部卓話、会員卓話の充実に努め会員が十分に納得のいく例会作りに力を入れ、メークアップも含めた出席率の向上に努めます。

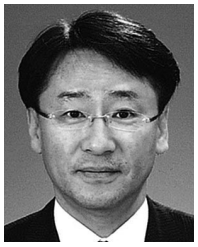
3．家族例会の開催

配偶者及び家族にも例会に参加してもらいロータリー活動を理解してもらう。

4．地域社会への知名度及びイメージアップ

地域社会活動に積極的に参加し、現在行っている事業を存続、充実させて地域の人々へのロータリークラブの認知を高めイメージアップを計る。

■宮之城RC会長　池田昇示



昨年11月に設立30周年のお祝いをさせて頂いた宮之城ロータリークラブですが、会員の減少により14名で新年度をスタートする事になります。先輩たちが築き上げて下さった年間のプログラムを消化するのも、儘ならない厳しい状況で新年度を迎えるに当たり、その任の重さが、痩せっぽちの肩に重く伸し掛かっている様に感じております。昨年の超ベテランコンビに代って、今年度は経験年数の浅い会長・幹事のペアで運営する事になったのは、これも天の思召しと捉えて新体制の構築に当って行きたいと考えております。

今思う事は、「原点に戻る」という事ではないかと感じます。　ロータリーには、地域において各業界の核となり知識や経験を豊富にお持ちの方々が集まっています。　これらを凝縮して地域に貢献する事、また各専門の職業を通じて発信できる事など楽しみながら生み出して行けたらと思います。

昨年は、インターアクトクラブを設立いたしました。　今後地域を担うであろう子供達との拘わりは、社業とは別の人材育成として活動の意味が深いと考えます。　こちらも大切にしながら進めて参ります。

少数精鋭部隊です。　チームワークを大切に楽しい1年となる様に頑張りますので、皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。

■大口RC会長　原良田佳彦

今年度は当クラブはCLP導入の年になります。従いまして、私の使命はいかにこの組織をうまく運営していくかだと思っております。ただ、CLPは１つの手段であり､本当の目的はクラブの活性化です。会員全員で考え、誰でも動けるクラブにしたいと考えております。

目標としましては、会員増強６名、うち１名は７月から、もう１名は推薦状が挙がっており幸先良く進んでいます。ここに会員一人一人の意識の高さを感じており心強いです。また増強も大事ですが、現会員の一人の退会者を出さないようにすることが重要な事です。そのためには充実した例会内容、親睦が大切な事だと思います。

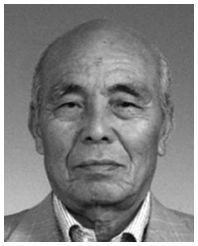
財団、米山奨学会の寄付金は、過去当クラブは地区では常に下位に低迷しています。この状況を何とか中位までに引き上げたいです。そのためには財団､米山の事をもっと知り、親しみを感じるように勉強会などをしてみようと思います。財団の地区補助金も新しくなり、より下りやすくなりました。今年度は残念ながら申請しておりませんが、次年度では

活用できるように､またそのためには寄付金もそれなりにしなければならないと思います。
事業計画としては、東日本大震災で被災された方々を救うべく2年前からスタートしたチャリティ音楽祭を、今年度も継続する事、また地域の子どもへ療育をされている施設の方々と交流を図り、そこから何か手助けできる事業をしたいです。
この1年間、誠心誠意頑張ります。

■伊集院RC会長　久保　等

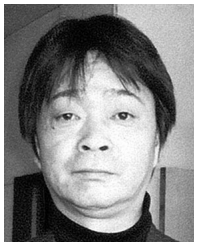
2013-2014年度の伊集院ロータリークラブの会長を務めることになりました　久保　等です。これからいろいろ勉強をして、荒木幹事とのコンビでこの一年間の責務を遂行していく所存です。
当クラブは45年の歴史を有し、現在の会員数は26名で、平均年齢は60才です。会員はCLPに基づく各委員会に所属し、分担された職務をそれぞれしっかりとこなしております。
今年度、大迫三郎ガバナーは基本方針として「ミッション・パッション・ビジョン」を掲げ、職業奉仕がロータリーの基本であると説かれています。
また、ロータリアンと胸のバッジは、職業奉仕を実践して、社会に貢献し、人格の陶冶を目指し、地域と世界のリーダーの「ステータスブランド」であると言われております。
今年度の地区４大目標は
１､職業奉仕　２､会員増強　３､女性会員増強　４､ロータリーブランド認知　です。
伊集院クラブは今年度、
「地区、クラブの行事に積極的に参加し　ロータリーを楽しもう」
をモットーに､会員同士のコミュニケーションをさらに深めてゆきたいと思っています｡特に地区大会には多くの会員が出席して､ロータリーブランドを肌で感じてほしいと思います。
そして、具体的な目標としては次の３項目をあげます。
① 会員増強　実質３名増（１名は女性）
② 夜間例会を毎月１回実施
③ 例会を充実させ　出席率のUP
なかなか客観情勢が厳しい時ですが、クラブの会員と事務局と共に、明るく楽しく前進すべく努めてまいります。

■加世田RC会長　工藤博美



2013～2014年度加世田RC会長を拝命致しました。
当クラブは40年の歴史をもつクラブでありますが、ご承知のとおり地区内で最も会員数が少ないクラブであります。
手続要覧の「新クラブ」の項には「新クラブは最低25名の創立会員を有していなければならない」とありますが、これは、ロータリー活動（事業）遂行のためには最低限、このくらいの会員数が必要ということを意味しています。
それらを鑑み、40年の歴史に恥じないクラブづくりを目指し、会員増強一途に邁進してまいります。

■枕崎RC会長　上久保慎一



本年度の枕崎ロータリークラブの会長就任にあたり身の引き締まる思いで御座います。枕崎ロータリークラブは現在会員数が20名と少ない会員でのスタートでありますが現会員の維持と会員増強を先ず最大の課題として会の運営が円滑に進めるように、取り組んで参ります。

本年度のRI会長のテーマでもあります、「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」に基づき2730地区ガバナーの指導の下で会員全員で協力し合って頑張っていきたいと思います。

また、クラブは職業奉仕と親睦が特に重要であり、各々の職業を通じ社会に貢献する事、クラブでは親睦を通じ楽しいクラブ運営に努力する事が大切です。

枕崎ロータリークラブの先人が培った事を大事にしつつ、若い力で新しい風を吹かせながら楽しい活力ある枕崎ロータリークラブにしたいと思いますので１年間どうぞよろしくお願い致します。

■頴娃RC会長　中村多聞

この度、2013-2014年度頴娃ロータリークラブ会長を務めさせていただくことになりました中村と申します。

当クラブは、５月に創立40周年記念式典を無事終え、その記念事業として頴娃高等学校に、念願のインターアクトクラブを設立することができました。クラブ創立当初から地域の青少年に対してクラブ主催によるバレーボール、ソフトボールの大会等を継続して行い、近年は、薬物乱用防止キャンペーン、高校生のための就職・就学面接会の講師派遣等を実施して参りましたが、インターアクト設立により、今後一層活動が広がっていくと思われます。また、地域の活性化を進めていく上で、将来を担う子供達への会員ひとりひとりの熱い思いと期待が実を結び、実現できたことはこのうえない喜びであります。

今後の課題は、やはり会員増強であります。クラブがこれから継続し奉仕活動していくには、現在27名の会員をなんとか30名まで増強していくことを目標とし、会員の皆様と協力し、魅力あるロータリー活動をアピールしていきたいと思います。

本年度の頴娃クラブは会長・幹事ともに40代であり、まだまだロータリーについて勉強していかなければなりません。精一杯頑張っていきますのでご指導のほど宜しくお願いいたします。

■指宿RC会長　中園伸宏

RI第2730地区会長エレクト研修セミナーを終えて

（平成25年３月９日～３月10日）

3月9日～3月10日会長エレクト研修セミナーを受講いたしました。

RIテーマ「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」であります。

私は、ロータリーを実践することにより多くの人との出会いがあり、多くの気づきをいただき、学ぶ事が出来ているように思います。豊かな人生とは何であろう

か。私はそうした人と人との質の高い出会いが自分自身を成長させているように思います。
社会や家庭で、どんな時も思いやりの心を持って生活してゆくことが出来たなら、豊かな人生を送ることが出来るのではと思います。
私はロータリー以外にも多くのボランティア活動をしております。公的なボランティアとして、民生児童委員　人権擁護委員　鹿児島県男女共同参画地域推進員　指宿市男女共同参画推進サポーター　ボランティア団体「スマイルネット指宿」会員　その他　であります。
私にとりまして　奉仕とは哲学であり、今後も奉仕の実践を続けてまいりたいと思っております。指宿はもうすぐ、アロハシャツの着用季節です。近年では、環境や省エネに配慮した「エコファッション」の先駆けとしてマスコミにも取り上げられています。今年もこのアロハシャツを着用し、ボランティア活動、ロータリーを実践してゆきたいと思います。みなさん指宿へメークアップに来てください。では一緒にロータリーを楽しみましょう。宜しくお願いします。

■霧島RC会長　丸野史朗

霧島ロータリークラブは創立32年になるクラブでございますが、本年度会長に就任させて頂き大変光栄と思いますと共に身の引き締まる思いと責任の重大さを痛感しております。2013－2014年度のテーマ「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」に基づき、大迫三郎ガバナーの言われる職業奉仕を実践し、「学び・考え・行動するクラブ」を目指して活動して参りたいと思います。
我がクラブは、会員数20名と小さなクラブではありますが、どこにも負けない団結力とバイタリティーそして温かさのある素晴らしいクラブであると自負しております。
本年度当クラブでは、恒例で行っておりますボランティアに加えて、霧島高校にて来年卒業生に対しまして、社会人研修を講師を迎えて行う予定です。また会員相互の益々の親睦を深めると共に奥様方の参加も好評でしたので、夜間例会を行い家族の親睦を深めると共にロータリーの理解を深めて行きたいと思います。
また、大阪の堺東ロータリークラブとの友好クラブとしての交流も５年目に入ります。今年もお互い行き来いたしまして、親睦を深め、長期的に交流を続けてまいります。
会員増強も女性会員を含めて、１名でも多く増員が出来ますよう、努力して参りたいと思います。そして会員の笑顔が絶えない楽しいクラブ運営に努めて参ります。

■国分RC会長　宮脇昌也

国分ロータリークラブの38代会長職に就任させていただきました。
平成20年に入会させていただき、ロータリー経験の浅いまだまだ学ぶべきことの多い若輩者の私にとって会長としての役割と責務は大変重責であり不安で役不足を感じるとともに今期は私自身にとって気の抜けない特別な年となりそうです。
返事はYESと“はい”のみ、NOと“いいえ”はないと言うロータリーの世界では何事

にも恐れずにチャレンジする人生においての修行の場であるのかも知れません。

入会当時は36名の会員数でしたが歴代会長のご尽力により、現在は50名を超え会員の平均年齢53.8才となる元気な活力のあるクラブとなっています。

会員による新風を吹き込み今年度の活動計画の目標達成に向け、ロータリーを心から楽しみながら各委員会との連携を図り前年度同様、継続できる奉仕活動を通じて会員同士のより一層の友情と親睦を深めていきます。

与えられた役割に深く感謝し、会員の皆様のご意見や諸先輩方々からのご指導を賜りながら微力ではありますが一生懸命務めて参ります。

■国分中央RC会長　川畑隆光

本年度、国分中央ロータリークラブの第27代会長に就任いたしました。

大迫三郎ガバナーの掲げられた職業奉仕を「出発点」にした奉仕の考え方に感動いたしました。若年のため日々仕事に追われている身でありますが、ロータリーのミッションを遂行すべく、俄然パッションが上昇しているこの頃です。

さらに当クラブから鹿児島県中部分区ガバナー補佐が選出され、国分中央ロータリークラブ会員一同、一致団結し意気軒昂であります。

また2730地区の目標である会員増強につきましては、高尾野龍一ガバナー補佐がPETSにおいて「１クラブ純増３名」と発表され、ビジョンが明確になりました。国分中央ロータリークラブの魅力により達成できると確信しております。

過去から受け取った良いものを、より良くして未来に手渡せるよう、私に与えられた役割を全うし、人生の分水嶺になるであろう１年間を存分に楽しみたいと思います。

■加治木RC　池﨑喜八郎

加治木ロータリークラブの第47代会長に就任する事になりました。馬齢を重ねての入会で、４年目での会長職は重くのしかかります。

当クラブは会員35名（うち女性会員３名）の規模で､46年間に亘る経験･ノウハウが染みこんでいます。又パストガバナーを始め各職業に秀でた会員を多数有しています。

私は3年半前の入会時の宣誓を思い出しています。｢例会を自己研鑽の場と心得て100％出席を目指して…。」と誓いました。

私自身、異業種の人々との交流の中で数多くの事を学びました。先ずもって会員一同自己研鑽に努め、ロータリアンとして地域社会の先達になるよう努めます。

最終的には会員の親睦を深めながら、奉仕を通じて家庭・職域・地域・世界の人々の豊かさに貢献することを目指します。

具体的な行動としては、時代や地域のニーズに合った活動を基本とします。

① 昨年立ち上げた自主的勉強会「始彩会」（月１回２時間）の益々の活性化に努め資質の向上を図ります。

② 会員の増強は組織基盤の大宗であり、2013～14年度も引続き会員の獲得に努めます。

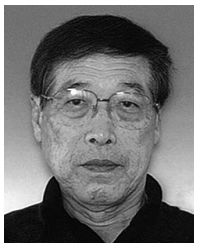
特に女性会員の獲得には意を用います。

③ 奉仕活動については、奉仕の理想、超我の奉仕の意味するところを自分自身の言葉として実践することに努めます。特に昨年立ち上げた「悩みごと相談会」の充実や、台湾員林西南ロータリークラブとの少年交流事業・留学生の援助等を通じて新世代の育成、国際感覚の醸成に貢献して行きます。

④ 各プログラムの実施や広報活動を通じてロータリークラブの公共イメージづくりと存在感を推進します。

⑤ その他各種案件については弾力的な運営を心掛け会員全員がロータリアンとしての誇りを持てるよう頑張ります。

■姶良RC会長　前田宣久



この度21代姶良ロータリークラブ会長に就任いたしました。

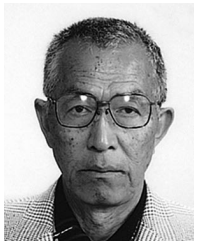
当クラブは、去る６月８日に創立20周年記念行事を挙行いたしました。

この節目の年にしかも２回目の会長をひきうけることは身のひきしまる思いです。これも会員の少ないせいで、まず会員増強が当クラブの一番の懸案事項です。今年度はぜひとも20名の会員（現17名）をめざしてメンバー全員で取組む必要があります。

奉仕活動としましては、毎年数人のメンバーで公立高校に出向いて「社会人の話を聞こう」という講演会、日赤献血運動への参加協力、小学校の歯の衛生週間コンクールへの表彰など継続しておりますが、山下ガバナー年度からすすめられていますC.L.Pの導入にもとりくんで、「クラブ活性化」を検討していく所存です。

よろしくお願い致します。

■志布志RC会長　坂田直喜



志布志RCの紹介をさせて頂きます。

創立以来34年目を迎えます。

会員総数は、23名です。うち女性会員は、３名です。

ユニークな催しは、「メダカの学校」です。今年で21回目の開催となります。志布志町内を流れる前川の上流にて「自然に親しもう」を合言葉に小中学生に参加してもらいます。時代を担う地域の青少年たちに対して、川を中心に自然の恵みや脅威について体験してもらうべく毎年「青少年野外活動」を共催しています。身近な生き物をじっくり観察することで、自然の仕組みや不思議さらには命の輝きを感じ取ってもらい､故郷のかけがえのない財産を将来に引き継いでもらうことが願いであります。募集人員は、200名です。「川の探索」「水鉄砲つくり」「ソウメン流し」等を体験してもらいます。川の探索は、川幅の狭いところを堰き止めての本格的な体験をします。水鉄砲つくり及びソウメン流しは、山に入って竹の切り込みからはじまります。ソウメンの露を入れる容器は、孟宗竹を加工して提供しますので、開催前日までに作り終えていなければなりません。準備から行事終了まで２日間どの会員も一生懸命手伝ってくれます。これを終えるとかなりの充実感が得られること間違いなしです。20年も続けていると最初に参

加した子供が親になってまた子供を連れて参加という家族もいたりします。3年前からは、志布志みなとRCも共催の仲間に加わっていただいております。今年は、８月４日に開催されます。また、暑い夏が来ます。頑張って成功させたいものです。

■志布志RC会長　下野太志

本年度志布志みなとロータリークラブの会長を拝命しました。

ロータリーの原点は職業奉仕であるといわれており、また本年度地区テーマも「職業奉仕の実践」であります。今一度職業奉仕について再確認し、クラブ内だけでなく地域社会の中でいかに職業奉仕を実践し、地域社会と連携できるかを模索していきたいと思います。

当クラブは、本年で15年目を迎えますが、2730地区の中では最も新しいクラブであります。若くエネルギッシュな会員が多く、次代に向けて前向きな事業や運営ができるよう尽力します。

また、9名の会長経験者が現役会員として活躍していますが、それぞれの会長時代の「思い」や「考え」を伺って、これからの「クラブへの思い」や「クラブをどのようにしていくべきなのか」を深く議論し、更なる向上を目指して次代へ引き継いでいければと思います。

そして、社会が急速に変革していく中で、その社会に適応していくために、「変えていかなければならないものと変えてはならないもの」を見極め、ロータリーの基本理念を時代に求められる形で実践していかなければならないと思います。

如何せん非力な会長でありますので、皆様のご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。

■串良RC会長　山下義正

この度、串良ロータリークラブ第45代会長を務めさせて頂きます山下です。

当串良ロータリークラブは、歴史あるクラブですが、近年若い会員も増加して若返りつつあるクラブといえます。例会も若い会員の卓話などで、変化しつつあるように思います。我々も若い会員が馴染みやすい例会となるよう、なるべくわかりやすい解説を交えた情報や卓話を心がけるよう考えています。

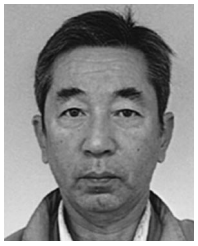
ロータリーの基本は奉仕であります。

大迫三郎ガバナーは、特に職業奉仕の重要性を説いておられます。我々のやるべき事は、先ず自分の仕事を通じて社会へ貢献することです。その為には例会を通じてロータリーの奉仕の理想を学ぶことが大切です。その例会をいかに楽しく、また、学びやすい場とするのがクラブ奉仕です。楽しい例会を心がければ、会員も自然と増えていくものと信じています。けっして高いハードルではないと考えています。そして出来れば女性会員をもっと増やせればと思っています。

ロータリーは日々変化しています。世の中の変化に伴い、自クラブも変わらなければなりません。その為にも新入会員を増やすことによって、それも特に若い感性をもった会員

を増やすことによって、クラブの活性化を目指したいと考えます。

■鹿屋RC会長　窪田秀作



鹿屋ロータリークラブ56代会長に就任させていただくことになりました。入会より10年を経過しました。ロータリーについて深く考えることもなく過ごしてきましたが昨年、会長エレクトとしての１年間はクラブリーダーシッププランの導入など多くの勉強をさせて頂き、今年度実践の年となります。

RI会長の言葉の中に「ロータリーで目にすることの多くは昔と違います。しかしロータリーの土台は変わっておりません。わたくしたちの土台は奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです」の言葉があります。多くの不安はありますが、次へバトンを渡すまで試行錯誤を繰り返し頑張りたいと思います。

ガバナーの言葉の中に「ロータリーとは職業奉仕を実践し、社会に貢献し人格の向上を目指す地域と世界のリーダーのステータスブランドである」とあります。本年度、鹿屋クラブはガバナーエレクト輩出クラブとなります。多くの地域のロータリアンとの出会いも増えます。職業奉仕を実践する為にも多くの出会いを楽しんで頂きたいと思います。

また例会内では会員卓話を多く取り入れ、お互いをもっと知ることが鹿屋ロータリークラブの良いところを伸ばすことに繋がると思っております。

最後になりますが、まずは例会が楽しいをモットーにスタートしたいと思います。例会が楽しいことが会員増強につながり、社会奉仕につながると思います。１年間精一杯頑張りますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願いします。

■鹿屋西RC会長　北山　勉

当クラブは、今年創立して36年となります。会員数も59名（女性10名）とこの数年で増え、入会暦の浅い会員が比較的に多い訳ですが、ベテラン会員の熱心な指導等で大変充実したクラブになっていると思っています。先輩たちの努力があって現在が在るわけですが、過去の実績は未来を保障してくれるものではありません。歴史の重みを感じ、感謝し、今を大事にしながら新たな歴史を刻んで行けるように、36年のクラブの良き精神は引き継いで時代に則して進化して行ければと思っています。

私は、ロータリーには素晴らしい魅力が潜んでいると思っています。現に、尊敬する先人たちが高齢になっても満足顔でロータリーを語り、活動を楽しそうにされている活き活きした姿を見聞きしてきました。その魅力の捉え方は､人それぞれ違うのかも知れません。しかし、その魅力の本質は、ロータリーの理念を探求し実践することからしか生まれないのだと思います。もっとロータリーに積極的に関われば楽しくなるという考えの基、R・Iテーマ、地区方針に沿ってロータリーを実践し、魅力を発見できるようロータリーを語り合い、その魅力を共有する仲間を増やして行ければと思います。

本年度は｢ロータリーをもっと楽しもう､そして､ロータリーをもっと語ろう｣をテーマに各委員会の役割を充分に認識し、ただ単に事業を行うことが目的にならないように各事業

の本来の目的を再確認しながら実践して行きたいと思います。一人でも多くの会員が真のロータリアンである先人の境地に少しでも近づけるような年になればと願っています。

■かのや東RC会長　河本正己

志布志で生まれ育ち、同地の青年会議所とライオンズクラブにそれぞれ10年ほど在籍し、50歳で縁あって鹿屋に参りました。自分が代表を務めるホテルにたまたま事務局があったという縁でロータリークラブに入会させていただき15年が経過いたしました。

第29代会長のご指名をいただいたのですが、ロータリークラブにはイエスはあってもノーは無いと先輩から聞かされておりましたし、14年間なんとなく活動してきましたつけが回ってきたような気がいたしております。しかしながら受けた以上は出来るだけのことをやり、自己修練の一年にしたいと思っております。

我がクラブは、ロータリークラブの奉仕活動を心から楽しみ、40名前後の会員数を永年維持する親睦活動が盛んなクラブであります。また、素晴らしい会員と役員理事に恵まれており、まことに心強く感じております。加えて、次年度は創立30周年にもあたりますので、また一歩成長したロータリークラブを目指して会員一丸となり行動したいと思っております。

今年度のRIのテーマ「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」を十分理解し、会員はもとより、活動を通して地域住民の皆様にロータリーを理解していただけるようにしたいと思っております。その一環として中学校、高校では職場体験学習をされておりますが、クラブから希望の学校に出前授業をして、「社会人とは職業人とは」とか、「学校と職業の違い」など、会員の職業について専門的に話をさせていただき、職業選択の一助となる機会となればありがたいと計画しております。

加えて、今年度は自クラブからガバナー補佐を輩出しておりますので、鹿児島県東部分区の各クラブが楽しく活動できますように、ガバナー補佐の活動を支援したいと思っております。

この一年どうかよろしくお願いいたします。

■きもつきRC会長　上原樹縁

第22代会長となります上原樹縁です。まだまだ勉強不足でもあり、重責ではありますが、仲間を信じ、己を信じ、自己研鑽に励んで参ります。

さて､今期のRIテーマは「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」です。

まずは、会員個々の職業奉仕観を更に高め・認め合い、忘己利他の精神でロータリー活動を実践していける環境整備に努めたいと考えます。自クラブは、今年度よりCLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を導入しました。

私の年度では、このCLP導入を定着させる意味からも、自クラブのこれまでの経験値を最大限に生かし、今現在と中長期プランへの橋渡しをする年度にしたいと考えます。次年度・次次年度・次次次年度と役職のスムーズな移行が図られ、各会員が事前準備にも着手

できるよう継続性にもできる限り配慮しました。

自クラブのこれまでの伝統継承とこれからの未来創造の事業を、各担当委員会主導のもと企画・立案・実践できたらと考えます。また、委員会タイアップ事業としての展開も良いのではと考えます。助け合いの精神です。思いやりです。「思いやり３原則」を強くお願いしています。「①手伝う、②励ます、③ありがとう」です。自分自身の責任のもと、個と集団の資質向上を目指そう。そのためには、自分の役割に自覚と努力を全力で尽くそう。そして、届かない部分は、仲間でフォローしあおう（手伝いあう）。本人の努力なくしては解決できないところは、心から励まそう（励まし合う）。そして、「ありがとう」が飛び交う環境を作り出そうと…。

CLPは活性化策であり、目的は「効果」です。その原動力は、我々クラブ会員一人ひとりの職業奉仕や仲間意識の心、RIのDNA（遺伝子）だと思っています。ぜひ、楽をせず、楽しみながらロータリーライフを充実させたいです。

自クラブの歴史と伝統を重んじ､自クラブの信頼と未来の更なる創造（イノベーション）を図れるよう、今後、会長として自覚を持って一所懸命がんばって参ります。ご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。感謝。

■南九州大崎RC会長　楠田利浩

皆さんこんにちは

この度、2013～2014年度、南九州大崎ロータリークラブの第16代会長を仰せつかりました、楠田利浩です。

会長の大役を受けるにあたり､私に全うできるのか不安でいっぱいです。

今年度のRI会長のロンD・バートン氏は“ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を”と、今年のテーマとして、発表され、大迫三郎ガバナーは“職業奉仕の実践”ミッション・パッション・ビジョンを掲げられています。

このテーマに少しでも沿えるように、一年間、活動していきたいと思います。

今年度１年間の色々な出会いを大切に、初心を忘れず、会員一人一人の協力を仰ぎながら頑張りたいと思います。

■鹿児島RC会長　内村文泰

この度、鹿児島ロータリークラブの2013年～2014年度、第62代会長の重責を務めることになりました。鹿児島ロータリークラブは1952年10月創立され国際ロータリー第2730地区で最も歴史を誇るクラブであります。先輩諸氏が会員相互の親睦を図りながらお互いに切磋琢磨、それぞれの時代の要請に応えるべく地域社会にまた国際社会に多大な貢献を重ねて来られました。

社会情勢が大きく変わる中、企業環境も先がなかなか読めない状況で今ロータリーも大きく変わろうとしています。職業を通じて社会に貢献する基本は変わりませんが、会員減少、会員の資質の低下によるクラブとしての力不足は否定できない状況にあります。ならばどうするのか？前年度谷川会長のもと当クラブはCLP（クラブリーダーシッププラン）

を正式に採用することになりました。その目的は委員会を集約すること、全員参加型でのクラブの活性化にあります。そこで、これまでの組織をクラブ管理・会員増強・奉仕プロジェクト・広報・ロータリー財団のそれぞれの部門に集約し部門ごとの結束を図る一方、部門間の相互協力を進めることに致しました。一方ロータリー活動は単年度で爾来行われてきましたが将来に向けどうしても戦略計画が必要になります。そこで今後の3年先、5年先を見据えた長期計画委員会をスタートさせることにしました。と同時に人材の育成、リーダーの育成も欠かせません。計画的な学習会もスタートしたいと思います。

本年度ロンD.バートンRI会長は「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」テーマに掲げられ会員増強の推進・ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実・ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化等を強調されています。

また、第2730地区大迫ガバナーは職業奉仕を基本として会員増強純増４％・女性会員純増40％・ロータリーブランド認知を年度目標として「ミッション・パッション・ビジョン」を基盤として掲げられております。

本年度3000回目の例会を迎えますが、会員一人一人が充実したロータリー活動が出来るよう皆で努力し、仲間も増やし「入りて学び、出でて奉仕せよ」の精神で次の10年、20年を心に描いて唯一無二のクラブとして輝き続けましょう。

「主なスケジュール」

１、全員クラブ協議会　平成25年７月26日（金）

２、ガバナー補佐公式訪問・クラブ協議会　平成25年７月19日（金）

３、ガバナー公式訪問　平成25年８月２日（金）

４、地区大会　平成25年10月11日、12日、13日

「重点施策」

※長期計画の立案　※会員増強の積極的推進

※奉仕プロジェクトの精査と新たな取り組み検討

※学習会についてはそれぞれのロータリー月間のテーマごとに部門（委員会）を中心に開催する

※R財団、米山奨学金への貢献と財団資金の積極的活用

※姉妹クラブとの交流（台北西RC・セソウルRC・酒田RC・下関北RC）
相互訪問に止まらず青少年交流、国際奉仕面等での人的交流の検討

※その他各行事に付きましても会員皆様の方の多数の参加ご協力よろしくお願い致します

「本年度スローガン」

60周年を終えクラブの原点へ帰り再構築しよう

■鹿児島南RC会長　宮田一男

鹿児島南ロータリークラブ創立55周年と云う記念すべき年に会長を務める事となりました。不安と緊張が交錯する中、歴史ある当クラブを担う重責をひしひしと感じ、身の引き締まる思いです。

先ずクラブ運営に関し、時代の変革と厳しい社会状況の中で活動力の最重点としてご提案されましたロン・D・バートンRI会長のテーマに「ENGAGE RORTARY CHANGE LIVES」（ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を）を掲げ、次の様に述べています。「私たちが何かを成し遂げようとするとき、形だけの努力でなく、これらの価値観に従って生き、地域社会に価値観を広めようと努力せねばならない。ロータリーの中核的価値観は、奉仕の精神・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップです。人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、そしてチャレンジ精神こそが私たち自身の人生を豊かにしていく道である」。また「未来の夢計画で、ロータリーは新たなレベルに達する」とも言っています。このRIテーマを踏まえ、我々ロータリアンが実践し、豊かな人生をさらに充実させる事がひとつの目標です。

地区協議会に於いて本年度RI大迫三郎ガバナーが掲げている人生の行動規範は「ミッション・パッション・ビジョン」を地区テーマとして職業奉仕を実践し、ロータリーを充分楽しもうと主張されました。会員すべてのモチベーションとして重要な事であると同感致します。

本年度活動と致しまして、今年11月30日は創立55周年の節目に当たり、前年度より実行委員会が中心となり、すでに事業計画は進行中です。各々仕事が多忙を極め、難しい時代を迎えている昨今、我がロータリークラブの将来を語り合い、新役員の決定を戴きました。

クラブテーマは「たがいに助け合い支え合おう」としました。ロータリーの役割が奉仕とすれば、そこにはサポーターがいて友情に支えられる相互・扶助の心が大切です。自然と奉仕の心が芽生えていく事こそが、豊かな心になる道なのではないでしょうか。

「超我の奉仕」RORTARYの会員で良かったと言えるような、楽しく魅力あるクラブ運営に私ども力を合わせ、微力ながら尽くして参りたいと存じます。また諸事業が個性ある会員それぞれの力で、我がクラブにふさわしい形で達成される事を願い、今から身の引き締まる思いです。今後クラブ内で良く協議を重ね、方針等決めて参ります。RI会長は「ロータリアン自らが自分の体験をもとに人に入会を勧めることだ」若い人、女性、学友たちに入会してもらい、学んで人生を変える事を奨めてほしいと言われています。我がロータリーは観桜会・納涼会・観月会・クリスマス会、飲ん語い学校など、四季折々に行事を執り行い、家族友人を交え親睦を深めております。特に本年度は来るべき55周年記念事業を控え、前期は多忙極まりないと存じますが、クラブ会員一丸となり、和気あいあいの良き伝統を守りつつ、残していくべきもの、変えていかなければならないものとをしっかり見極め、さらに末長く築き上げていくために、本年度も皆様方のお力添えをいただきながら、取り組んでいく決意で御座いますので宜しくお願い申し上げます。

■鹿児島西RC会長　長柄英男

前期、12-13年度には鹿児島西RCは山下皓三ガバナーを擁し鹿児島市内のクラブのご協力の下に地区大会を成功させることができました。また2013年３月にはクラブ創立50周年を迎え記念式典を行いました。これを機会に台湾宜蘭RCと姉妹盟約を取り交わし、従来の山形県鶴岡RC、カルフォルニア、サンタローザ、サンライズRCと３クラブとの親交を暖めることができるようになりました。山下皓三パストガバナー、染川周郎前会長のリーダーシップ、会員諸兄の団結力と実行力に改めて尊敬と感謝の拍手を贈りたいと思います。

今年度の重点目標は会員の増強であります。人間は楽しくて意義ある人生を送るために生まれてきました。この願いをロータリーに入会し、ロータリーのメンバーと一緒に達成したいと願う人々を増やすことが増強だと思います。気軽にしかし熱心に声をかけて行きたいと思います。

第二の重点目標は社会奉仕であります。『障害者施設へAEDを贈ろう』プロジェクトに地区補助金を受けることが決まっています。障害者施設の利用者は高齢化、心身の病気の重症化が進んで来ています。AEDを設置し、職員の皆さんが救急の対応の訓練を受け利用者の皆さんの安全を守るプロジェクトです。会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

■鹿児島東南RC会長　上田平重樹

「ここのクラブはどうですか？」と尋ねられたとき「例会場の素晴らしさは何ともいえない」と応えたのは、チリのサンティアゴRCを訪れた時だった。首都にあるクラブに相応しい国を代表する建物には、限られた人しか入れないと後から知る事となる。私がチリを訪れたのは年末から1月中旬頃、真夏の季節だった。ロサンゼルスで商用を済ませ、サンティアゴで行われる学会に友人と参加した。但し、私の心はもっと南、南極に近いパタゴニアでのトレッキングに向いていた。パタゴニアに出かける前に、２つの対照的なクラブを訪問する事となる。１つは国を代表するクラブ、もう一つは会員数10名程度の小さなクラブ。スペイン語圏なので私のつたない英語がもつか心配だったが、小さいクラブは全員が英語を話せ、レストランでの例会を楽しく活発に行っていた。チリのおかれている国際的立場、隣国ペルー、ボリビアなどとの国境問題など日本の抱える問題と同じような話をしていた。最後に「ベルミッソ、ウステデス」とおぼえたてのスペイン語で、嫁に証拠写真を見せなきゃいけない、しかも男だけのクラブでの食事というのが重要だというと、どっと笑いがおこり無事証拠収集。

ロータリーは、インターナショナル。私は世界中でこのような体験ができることを素晴らしいと感じています。これからも海外のクラブをメイクアップし友人をひろめていきたいと思います。

■鹿児島中央RC会長　小原正信

ロータリーは「人生をより良く生きる道である」という価値観に加え、ロータリーを判りやすく理解するため「ロータリーの真の姿」としてE.S.Sで表されるとRIは発表しています。

E－Enjoy　　会員相互の信頼感を以て心から楽しみ親睦を深める。

S－Study　　多くの会員の人生哲学に学び、自己研鑽に励んで人間性を高める。

S－Service　奉仕の精神を自然に生活の中に活かし広く世の為人の為に尽くす。

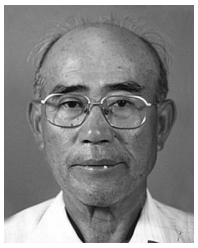
このE.S.S即ち「真の姿＝親睦・学び・奉仕」をあらゆる活動において会員個々の取り組みの中で、より「深く、高く、広く」するにはどうしたらよいかを考えること、その努力の積み重ねでクラブも活性化し魅力を増して行くのではないか又、その事が結果的には会員増強、退会防止、会員満足度向上に繋がってくるのではないでしょうか？

我がクラブの生みの親、大津PGはその昔「会員がロータリアンらしくなってきたかどうか？クラブライフをエンジョイしているかどうか？」をクラブ発展、成長を図る物差しとしたいとのべられておられます。

今年度は奉仕の実践活動の中で「全ての会員がロータリアンらしくなり、クラブライフをエンジョイ」する姿を求めて、より「深く、高く、広く」を活動の目標テーマとしたいと思います。

皆様方と共に勉強させていただきながら少しでも真のロータリアンに近づけるよう努力して参りたいと存じます。一年間宜しくご指導の程お願い申し上げます。

■鹿児島西南RC会長　森田五男



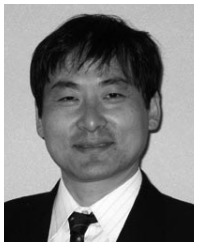
この度､鹿児島西南ロータリークラブの会長をお引き受けする事になり、不安と身の引き締まる思いでいっぱいです。

当クラブは、数年前から、会員数の減少により、市内10クラブの中で、１番少人数のクラブとなりました。それで行事・奉仕活動をするにも、ある程度の会員数を必要と致しますので、今年度の目標を、クラブの立て直しを最優先の課題にして、全会員で、会員増強に取り組み、クラブがずっと存続できるよう、精一杯努力したいと思っております。

奉仕活動については､谷山地域に密着した奉仕活動に､力を入れたいと思っております。少人数の為、プロバスも提唱致しておりますので、合同の奉仕活動の計画、長期継続事業を中心に頑張っていきたいと思います。

又、今年度は、市内分区の、ライラのホストクラブにもなっております。少人数ではありますが、全会員で取り組み、頑張りたいと思いますので、ご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

■鹿児島城西RC会長　永田眞一



今年度、鹿児島城西ロータリークラブの会長を拝命しました永田眞一です。

2013-14年度RI会長ロンD.バートン氏は、RIテーマとして『ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を』と掲げられました。

大迫三郎ガバナーは、『職業奉仕の実践』がロータリーの第一の基本目的で、職業を通じて家族を守り、従業員を守り、下請や取引先との公正な取引、さらに大事なお客様への奉仕､公平な利益を追求することに懸命に尽くすこととを強調されました。

1972年９月号のThe Rotarianに、『職業奉仕とは、あなたの職業を通じて他人を助けることです。』とありました。（ここでの他人は顧客､従業員､同業者､納入業者だと思います。）

私は、上記の事柄を踏まえクラブ運営にあたりたいと考えております。

教育、奉仕、親睦を基本におき、クラブ運営の組織強化にも取り組んで行かないといけないと思っています。今年は、クラブに新入会員も入ってまいりました。指導者育成の観点から、これを単に数合わせの会員増強に終わらせるのではなく、新会員の方々に、「ロータリーに入会して本当に良かった」と思っていただき、生き生きとしたクラブ活動を行っていただきたいと思っております。将来的には、クラブの指導者へ育ってほしいとも願っております。そのためにも、既存のメンバーがロータリーの精神や知識を再度勉強し再定着した上で、新入会員にロータリーの理念を教えていただきたいと思っております。

さらに、５大奉仕の実践を行うため、各委員会の活性化にも取り組みたいと思っております。委員長を中心に何を委員会として行わなければならないか、常に考えて活動していただきたいと思います。また、CLPにのっとって３年のスパンで、現在の委員長の下の副委員長が、次年度は委員長になって頂き、各委員会の勉強をしっかりやってもらいたいと思います。ロータリーに対する理解を深め、奉仕の意欲を高めていただけるように願っております。

最後に、今後、クラブのメンバーの各自が、ロータリーの理念のもと、奉仕活動に積極的に取り組み、率先して協力できるような、愛着を持てるクラブづくりを目指したいと思います。

■鹿児島東RC会長　前田浩志

８年前に29歳でロータリーと出会い、30歳で鹿児島東クラブに入会させていただきました。そして今年37歳で会長職に就かせて頂きます。経験不足を指摘されることがないように、努力でカバーして１年間をフットワーク良く運営できたらと思います。

世の中の進化に合わせて、東クラブも昨年からクラブ細則の変更などに乗り出し時代の波にあわせて、クラブとして飛躍の一年にしてまいります。

また進化は図るものの、ロータリアンとしての義務や伝統や誇りは忘れることなく、今年度のＲＩテーマに基づきロータリーを実践してまいります。

そして、地区の方針でもあるミッション（使命）を意識していきます。それはもちろんロータリアンとしてもですし、１人の人間としても世の中にどのような足跡を残していく

のか、大局の中での使命も持ち続けたいと思います。
どうぞ皆様１年間よろしくお願いいたします。

■鹿児島北RC会長　喜山修三

2013年度の鹿児島北ロータリークラブの会長を拝命しました。先日名刺交換をした方から「芸能人みたいな名前ですね」と言われましたが、これは初めてのことで、出身は鹿児島県の与論島です。鹿児島北クラブは、鹿児島市内の南方に位置する「レンブラントホテル鹿児島（旧鹿児島東急ホテル)」を例会場としており、会員数は26名です。会員が少数ですので、大きなクラブと同じ活動をすることはできませんが、少人数が故にクラブの会員間のまとまりは強いと自負しております。

また、台湾の『台北市和平扶輪社』とは姉妹盟約を結んでおり、20周年等の記念事業や姉妹盟約の更新の折にはお互いのクラブを行き来して、親睦を深めております。

私は３月に開催されたPETSに参加し、今年度のクラブ目標として「もっとお互いを知って社会奉仕をしよう」「仲間を増やそう」「広報をしよう」の三つを考えました。やはりロータリーの原点は奉仕活動であります。

さて、ロータリーの原点は不変であっても、その活動内容は少なからず時代や環境や景気に影響されます。年初からの円安や株価の上昇がロータリー活動にもいい影響を及ぼしてくれることを願っています。浅学非才の会長でございます。皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力を心からお願い申し上げます。

■鹿児島サザンウインドRC会長　庄司教克

第18代会長を仰せつかりました庄司でございます。１年間よろしくお願いいたします。当クラブは、鹿児島城西ロータリークラブをスポンサークラブとして鹿児島市内９クラブのご支援ご指導のもと、平成９年４月に38名のチャーターメンバーで発足いたしました。

創立の方針は、①「ロータリーの心」を学び、「ロータリーの活動」への積極参加を通して「奉仕の心の実践」と職業倫理の高揚につとめます、であります。ロータリーの活動への積極参加は当クラブの特徴でもあります。この思いをつなげてこられた歴代会長の方々、会員の皆さんに深く敬意を表したいと思います。

今年度のクラブテーマは、「ロータリーを学び　奉仕の心を高めよう！」といたしました。ロータリーの創始者でありますポール・ハリスの心というものを、しっかり勉強し、ロータリーとは何かということを学び、人に尽くす喜び、人に奉仕する喜びを高めていくことで、ロンD・バートンRI会長が掲げられましたテーマ「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」。また、第2730地区大迫三郎ガバナーが掲げられました「職業奉仕の実践」－感動－ミッション・パッション・ビジョンにお応えしていこうと思います。

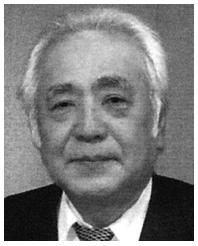
具体的には、

① 例会、ロータリー大学、オリエンテーション、RLIで学ぶ。

② CLP採用による、全員参加の楽しいクラブづくり。

③ 継続事業である「障害者スポーツ」の支援。
④ 仲間を増やす。
を重点目標として取り組んでいきます。
微力ではありますが、会員の皆さんのお知恵を借りながら、楽しいクラブづくりに努力していきたいと思います。ご指導とご協力くださいますようお願い申し上げます。

■奄美RC会長　朝沼　榎



来季奄美ロータリークラブの会長となります。我々の地区は地球でも固有の多彩な面がある地域のひとつですので、地域から地球を護る運動に奉仕をと考えています。具体的には数万年前から生存している鮎を守るために20年前の河川を蘇させる奉仕活動や啓発活動。そして次世代を担う子供達が健全なる成長をするよう期待して、スポーツを通じて交流を深める奉仕活動を企画したいと考えています。
今迄の奉仕活動が委員会中心で行い物心両面の負担も多かったと思いますが、これからも勿論委員会にリーダーシップをとってもらい、クラブ全体で奉仕活動を応援し、継続させ、人的支援も含みバックアップしたいと考えています。

■奄美中央RC会長　隈元保文

本年度、奄美中央ロータリークラブは創立35周年を迎えます。
チャーターメンバーも１名となり､新旧の移り変わりを実感しています。私自身もロータリーに入会して33年になり、今年度、会長として就任する事となりました。
「やれば出来る」を念頭に我がクラブでは女性会員の増強を話し合い、実践してきました。結果として、一挙に４名の女性会員を迎える事が出来ました。
尚一層、活気あふれるクラブになっていくと確信しています。
歳を重ねると新しい友人を作るのは難しくなります。
ロータリークラブでは多くの人と出逢い、そこから学び成長していく、ここが貴重な体験の場であると思っています。
今年度も会員増強に一層努力して参ります。
最近、新入会員も増えている事から研修・リーダーシップのもと研修・勉強会等、開催してロータリーの本質を理解してもらう様、心がけるつもりです。
地域社会に対応した存在感のあるロータリークラブを作っていきましょう。
一人でやる事は微力ですが、チームでやる楽しさ・大事さを味わっていける一年になればと思っています。
我がクラブ指針を「楽しもうロータリー！そして学ぼう！」としました。
学ぶことは生きる事。そして成長する事。
この一年間、皆さまのご協力よろしくお願いします。

■奄美瀬戸内RC会長　楢林貴浩

この度、2013-2014年度奄美瀬戸内ロータリークラブ第22代会長を仰せつかりました楢林貴浩です。どうぞ宜しくお願いします。

私はロータリーに入会しまして、まだ13年目を迎えたばかりの浅学非才の身ではありますが、会員の皆様のご協力を賜りながら１年間この大役を全うしたいと思います。

今年度ロンDバートンRI会長のテーマは、「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」です。また大迫三郎2730地区ガバナーの「職業奉仕」―感動―　ミッション　パッション　ビジョンを念頭に置き、クラブテーマは「感謝を込めて奉仕をしよう」と決めました。会員同士、職場、取引先、地元の地域社会に対して「ありがとう」の気持ちで奉仕活動を積極的に取り組んでいきたいと思います。

先日CLP（クラブリーダーシッププラン）を導入しクラブ組織の再編成を行いました。また例会の充実、活動後の反省会、夜間例会等親睦にも努め、会員増強、退会防止を図りクラブの活性化を進めます。

この１年間皆様のご協力、ご指導を重ねてお願い致します。

■延岡RC会長　森　憲一

「60年の歴史を共有し、新たなるステージ（挑戦）へ」

当クラブは2014年６月に、創立60周年の節目を迎えます。当クラブからは、過去２人のガバナーが輩出し、地区内において、歴史や伝統だけでなく実績もあるクラブであると自負しておりますが、本年度は当クラブの創立以降、当クラブを育ててこられた多くの素晴らしい先輩方の努力に思いを馳せながら、その歴史を会員全員が共有し、今後とも当クラブが地域に必要とされ、かつ私たちが誇れる組織として持続していくためのクラブづくりに向けて、新たな一歩を踏み出していく一年にしたいと思っております。

そのために、当クラブでは、本年度よりさらなるクラブ強化のため、CLPの手法を段階的に取り入れていくことになりました。具体的には、委員会組織を再編し　①会員基盤の維持拡大　②例会重視の親睦活動の強化　③地域社会のニーズを取り上げた奉仕プロジェクトの実施　④R財団・米山奨学会への支援　⑤会員研修の計画的実施　⑥公共イメージの向上に取り組みます。他にも本年は創立60周年ということで、記念事業として2人の交換留学生の受入・派遣や地区補助金を活用した奉仕プロジェクトを実施予定です。

ここ数年、RIは、「戦略計画」の中で、「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」を中核的価値観に位置づけておりますが、私は、100人の会員がいれば100通りのロータリー観があっていいと思いますし、要は、一人ひとりがロータリーの価値観を共有し、それを行動規範として日々実践していくことがロータリーの発展に繋がっていくのだと思っております。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

■延岡東RC会長　髙橋　寿

本年度2013～2014年度、延岡東ロータリークラブの第48代会長を務めることになりました髙橋　寿です。

歴代会長、幹事、役員の方々を始め、会員の皆様の努力の結果築き上げられました伝統と実績を継承して発展させなければという思いと共に責任の重さを痛感しております。皆様のご協力を頂きながら、会長という大役を全うして参りたいと思います。

RI会長のテーマ「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」を理解し実践し地区のテーマ「職業奉仕の実践」に沿って当クラブでは「和の心で奉仕しよう」をテーマに掲げわかりやすく、楽しく、地域にも役立つ活動をと考えています。

そこで今年度の当クラブの強調事項としまして

① 地域を考えたロータリー活動をしよう。

② 例会で語り合おう。

③ みんなでやろう「会員増強・退会防止」。

④ ロータリーを学び、楽しんでいこう。

⑤ クラブ創立50周年記念行事及びガバナー年度への橋渡しをしよう。

当クラブの大きな節目の50周年記念行事また、ガバナー年度へいかにその橋渡しが出来るかを考え進めていきたいと思っています。

その準備として会員の皆様には大きな負担をかけますが、実行委員会の開催またフォーラム等開催しクラブとしてより一層団結していければと考えております。

これから一年間、理事役員をはじめ各委員長の皆様並びに会員の皆様に支えて頂きながら全力で取り組んでまいります。

どうぞ地区の皆様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い致します。

■延岡中央RC会長　池田和子

第35代会長の池田和子でございます。

戸惑いと不安の中PETに参加して改めてロータリーの仕組みと奉仕活動の内容の素晴らしさに驚きました。そしてその一員であることに誇りと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

国際ロータリーと地区のテーマに従い実践したいと思っております。

ロータリーに入会して以来、会員の皆様には大変お世話になり今がありますので、その恩返しが出来ればと思っておりますが、ロータリーの事は、勉強不足で反対に迷惑をおかけする事になるかもしれませんが、一生懸命に取り組みたいと思っております。

私が一番気になったのは会員の平均年齢が高かった事でした。新入会員さんをどんどん入れる自信はないし、何かできる事はないだろうかと考えた末、クラブの若返りと活性化を図る仕組みづくりなら出来るかもしれないと思いました。

是非入会させてくださいと言われるロータリーになるには

こんな事あり得ないと思いましたが､目標にしないと実現できないと思いそうしました。

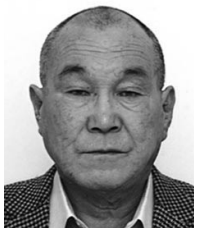
もっと、会員の事をわかり合う

もっと、わかりやすいロータリーに
もっと、楽しいロータリーに
もっと、地域社会に役に立つロータリーに
入会したその日からわかりやすく、楽しいロータリーにしたい
我がクラブの会員さんは、とても協力的で前向きな方が多いので良い結果が出せると思っております。
情熱を持って取り組みたいと思っていますので、宜しくお願いいたします。

■日向RC会長　日髙秀和

日向クラブの54代会長を拝命いたしました日_秀和です。
本年９月１日でようやく入会８年、クラブ会員の年齢平均を15歳下回る若輩です。
私の父と同い年生まれの大原幹事はじめ、先輩会員の皆様のお助けで１年間務めさせていただきます。
年々当クラブは会員数が減少してしまい、20名スタートとなりました。
10年、20年前は、70名近い会員を要していた時期もあったと聞いております。
親睦が第一義の組織ではありませんが、まず毎週の例会に皆様が楽しくご参加くださらねば、クラブの活性化はなされないと考えます。
PETSでの最後の楽しもう三唱、それに論語の雍也篇からの引用になりますが、当クラブの本年度テーマは「会員の力を結集し､ロータリーを楽しもう」とさせていただきました。
昨年度当クラブが主幹いたしましたIMは、皆様から高い評価を頂戴しました。
会員の皆様の意気高揚を狙い、今年度は福島キッズの受け入れを表明いたしました。
ありがたいことに皆様のお力添えで、なにより私自身が楽しいロータリーライフを送らせていただいています。
１つの行事が終わっても〝燃え尽き症候群〟にならぬよう、各予定行事につきましても〝雍也論語〟とならぬよう、頑張ってまいります。よろしくお願いします。

■日向東RC会長　児玉富喜夫



この度、日向東ロータリー・クラブ第39代会長を仰せつかることになりました児玉です。会長の重責に身の引き締まる思いであるのとともに、改めて前向きにその責任を全うしていきたいと思っております。
わが日向東ロータリー・クラブの会員は若干減りましたが、熱意と情熱のある会員の協力による活動を行ってまいります。本年度は積極的に会員の増強に努め、新しい風を呼び込み活性化と地域にマッチした時代の流れに順応していきたいと思っております。
特に本年は､宮崎出身の大迫ガバナーのリーダーのもと､今年度のテーマであります『ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を』とし、前向きなRI会長の指導のもと活動をしてまいります。
会員の中には各々の知識や趣味を持ち、ロータリーを通して人生を楽しんでおられる

方々がおられることです。

今後も、会員増強、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の活動の素晴らしさを伝え、供に行動できる新しい仲間を増やすために､会員の維持増強を図っていきたいと思っております。

１年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■日向中央RC会長　北御門　孝

日向中央ロータリークラブの27代会長を拝命しました北御門です。

本年度は特に大迫ガバナーの掲げている会員増強年純増４％とロータリーブランドの認知に力を入れてまいりたいと考えています。

今の我が日向中央ロータリーは皆、とても仲が良く、協力しあって事業を進めていますが、仲間が多ければもっと楽しく大きな事にも挑戦できるのではないか…そんな思いを抱いております。

故に本年度の私のテーマは「広げようロータリーの輪、そして明るい未来へ」です。

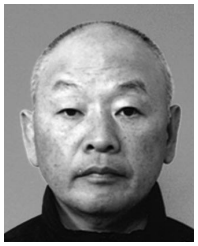
私たちロータリアンは奉仕の精神、いわゆる無償の愛で行動しております。そんな方々が世の中に増えていけば平和な理想の世界が実現していくのです、故に未来は明るい！

短い間ではございますが、精一杯頑張りますので皆様方のご協力よろしくお願い申し上げます。

１・会員増強、退会防止
　例会、奉仕活動に知人・友人を誘い、仲間となってもらう

２・ロータリーブランドの充実
　地域に根ざした奉仕活動の充実とPR

■門川RC会長　黒木浩二



今年門川ロータリークラブ創立22年目で３回目の会長を仰せつかる事になりました黒木と申します。門川クラブは今現在、会員数7名と創立時と比べると1/3程度に減少しております。今年度は、何とか10名まで増員できればと思っております。現在の７名もロータリー歴22年目のチャーターメンバーの方が１名、他は、15年以上の方が大半です。少数ではございますが、その会員の大半が、会長経験者と言う事もあり、その年度の会長に意見を出し合える事で皆が、協力できると言う事が、すごくまとまっていけるすばらしい仲間だと思います。又、会長以外の会員は、１人で二役以上務めなければなりませんが、その反面ロータリーの内容を全員が覚えられるというメリットもあります。そして年1度の親睦旅行も夫婦同伴で行って会員同士の親睦を深めています。少人数で大変ですが全員で力を合せて頑張って行こうと思います。

■宮崎RC会長　池ノ上　克

宮崎ロータリークラブは2013年２月16日、創立60周年記念式典を盛大に行うことができました。本クラブは昭和28年に神戸ロータリークラブのスポンサーで創立されましたが、39名でのスタートだったそうです。しかし現在ではほぼ100名前後で推移しています。

記念式典には神戸クラブを始め、日頃から楽しいお付き合いをしていただいている山形クラブや奈良クラブからも多数の方々が参加して下さり、活気に満ちた素晴らしい式典となりました。続く懇親会では宮崎ロータリークラブの会員有志が練習を重ねて準備した和太鼓の演奏も披露され、そのチームワークの良さは感動的でした。

39名のチャーターメンバーはもちろん、これまでの活動を支えていただいた多くの会員のおかげで、60周年を迎えることができました。改めて感謝を申し上げたいと思います。

2013～2014年度のロンD.バートンRI会長からのテーマは「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を。」です。また、大迫三郎RI第2730地区ガバナーが強調される「ロータリーの第一の基本的目標は職業奉仕である。」をしっかり踏まえながら、これまで培われた当クラブの歴史と伝統を大切に守って、新たなことにもチャレンジしたいと存じます。

個人的には1973年度の国際RI財団奨学生として米国留学の機会を与えられたこともあり、お礼の意味も含めて今回の会長職を精一杯努めたいと思っています。幸い、役員の皆様による強力なサポート体制もできましたので、一緒に頑張って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

■宮崎西RC会長　増田秀文

宮崎西ロータリークラブ第54代会長を務めさせていただくことになりました。

我がクラブは「親睦の西クラブ」と呼ばれ伝統的に親睦を大切としてまいりましたが、今年度もその親睦を最優先に考えクラブを運営してまいりたいと思っています。

今年度クラブ方針は「充実した例会運営を図る」「会員増強を推進する」「職業奉仕の実践に務める」「ロータリー財団　米山奨学会の支援をする」という四つを掲げました。

その中でも例会運営を重視して、活動していきたいと考えています。

ロータリー活動は楽しくあるべきですし、例会も同様です。

現在我がクラブは三年未満の若い会員の方々が多くなり活気に満ちてきたと思いますが反面、会員間の交流が多少薄れてきた感がしています。

ロータリーが楽しくあるためにはまず会員同士がお互いをよく知り、理解しあうことが必要です。

例会において多くの会員に参加の場をつくり全員が充実感を得られるような例会づくりをしたいと思います。

会員間の親睦が深まればさらに例会への参加が楽しいものとなりその事で出席率の向上にもつながればよいと考えます。

ロータリーの原点が親睦にあり、その親睦を深める場所が例会だと思います。会員の皆

さんが例会が楽しいと言っていただけるような例会運営を目指し、親睦を通して奉仕活動を行うことにより自らを高め、多くの方々に少しでもお役に立つことができたらと思います。

今年一年間宜しくお願いいたします。

■宮崎北RC会長　西本勝博

宮崎北ロータリー・クラブ第45代会長を務めさせて頂く事になりました、どうぞよろしくお願い致します。

ロン・バートンRI会長は国際協議会において、「ロータリアンが積極的に奉仕の心を実践していけば、人々の人生を豊かにしていくことができる。そして何よりも一番豊かになるのは奉仕を実践するロータリアン自身だ」と述べられ、『ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を』とテーマを掲げられました。また、大迫ガバナーはご自身が執筆された「ロータリアンの矜持　職業奉仕とロータリー」と題する小冊子に、職業奉仕と社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕・クラブ奉仕との関り合いを提示し、職業奉仕はロータリアンの人格の陶冶であると述べておられます。

ロン・バートンRI会長、大迫ガバナー共に職業奉仕哲学を学び実践する事をロータリアンに求めておられます。私は今年度の方針を「学ぶ心、奉仕の心、楽しむ心」と致しました。ロータリーを学び、理解を深める事に重点を置きたいと思います。そして奉仕の心が育ち、クラブ活動が楽しくなる事を目標に致します。我クラブはここ数年、会員増強に力を注ぎ、それなりの成果を得る事が出来ました。新会員の加入はクラブに新しい風を起こし、瑞々しいクラブへ変わりつつあるのを感じています。歴代の会長と会員が築いてきたこの流れを断ち切ることなく、クラブがさらに進化するよう心掛けていきたいと考えています。

どうぞ１年間、よろしくお願い申し上げます。

■宮崎南RC会長　小園隆司

皆さんこんにちは。2013～2014年度宮崎南ロタリークラブの会長を仰せつかりました小園隆司と申します。私共のクラブは会員数が今現在35名です。設立当初は70名を超えるメンバーが在籍していましたが、その半数まで会員が減ってきております。この事は何も我がクラブだけの問題ではないかもしれませんが、会員拡大は永遠のテーマです。この様な状況の中で、今年度当クラブから大迫ガバナーを輩出致します。果たして私共のクラブの規模で、ガバナーを支え、又各大会を開催し主幹してくことにメンバー全員が不安を抱いているのは正直なところです。しかしガバナーを受けられた時に一致団結し支えようと決議した訳ですので、我がクラブにおいては目的を持って一年間クラブの活動が出来ると思いますし、クラブ全体の活性化にも繋がると思います。これを機会に更なる会員拡大に努めていきたいと思います。他のクラブの皆様には大変ご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

■宮崎中央RC会長　松山春喜

この度、宮崎中央RCの第28代会長に就任することになりました。前年度の幹事から引き続きですからその経験を活かした1年間にできればと思っています。

私共のクラブは初代秦会長の「人の輪とホスピタリティー」「継続は力なり」からスタートして、前々年度、平松会長の「原点回帰と利他の心で」そして新田前年度の「明るく、楽しく」とクラブテーマが掲げられていますので私なりに考え、「感動と共生」に致しました。私達は「ロータリークラブ」という素晴らしい出逢いの場を得ることができました。奉仕によって他人の幸せを喜び、世界平和の役に立てる。これを感動として、又、強い人や富める人が、そうでない人に「してあげる」ではなく幸福も不幸も共にわかちあい共に生きる。交通遺児、被災者、障害者、お年寄、果ては飢餓のアフリカ人、ポリオ撲滅すべてに通じる心…それが今最も求められているものだと感じたからです。

活動方針として次の計画を考えています。

① 現事業の継続

○「くすの木賞」
○ひむかかるた大会
○職場訪問
○トライアスロンへの協賛
○海洋高校での模擬面接
○宮日美展「宮崎中央ロータリー会長賞」
○台湾・龍山RCとの友好クラブ・交換留学制度の継続
○海南東RCとの友好クラブ継続

② 重点目標

○例会出席率の向上

例会の充実・メークアップの徹底・まずは90％以上

○会員維持・増強

2730地区に於いて１年純増１名、５年間で５名増の目標が打ち出されているため本年度は最低３名、50人以上のクラブを目指す。

○CLPについてはRIが推奨、地区もDLPを取り入れクラブにもDLPに即応した組織作りを求められているが、クラブ内に導入を慎重に考えている会員も少なくないので今期は検討委員会を作り導入に対して時間を充分に取りたい。

○財団補助金制度の活用については現在田島地区国際奉仕委員長がDDF（地区活動資金）を利用してネパール（Butwalクラブ）とマッチンググラントの交渉をして、ロータリー財団から申請許可の受理があった状況なので本年度内に実現する予定です。又、今後のことを考えてロータリー財団・新しい補助金構成についての勉強会を随時開催したいと思っています。

○ローターアクト・インターアクトの組織は年に２回、連絡先等の情報をRIに報告義務があり現在解散の可能性を打診されています。特にローターアクトについて

は地区内の中でもまとまったクラブ形成が可能になってきていますので、保留を元に戻す手続きを優先し次年度へ繋ぐ予定です。

○クラブ会報委員会と広報、雑誌、IT委員会を連携を強めホームページの有効利用を図る目的で１つにする。その為に細則の見直し等を行ない長期プランの出発年度にしたい。

○地区開催の主たる行事、地区協議会・地区大会・ライラ・補助金管理セミナー等への積極的な参加を促したいと思っています。

○ロータリークラブ・セントラル等からRI情報をこまめに入手して、クラブを常に新しい状況に置きたい。

以上のクラブ活動を、RIテーマ「ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を」と地区目標「職業奉仕の実践」を中心に実践していきたいと考えています。

■宮崎東RC会長　久寿米木和夫

今年度、宮崎東ロータリークラブ第17代会長を仰せつかりました久寿米木和夫です。今期で入会13年目を迎えますが、その間のロータリアン諸兄を含めた多くの素晴らしい皆様との出会いにより、私自身ひと回り成長させていただいたように感じています。クラブ発展のために少しでもご恩返しが出来ればと、会長職の重責を感じつつ、微力ではありますが１年間務めて参りたいと思います。

当クラブは現在会員数22名。少人数クラブがゆえ何事にも全員参加が基本ですので、幸いな事にほぼ全員が何れかの委員長経験者です。しかし、マンパワー不足は否めません。ここ数年来ずっと言われ続けたことではありますが､退会防止策を講じつつ会員増強行い、組織強化を図りたいと考えています。

また、本年度は鹿児島県の友好クラブと提携して、新規の支援事業を立ち上げる計画です。ただし、新規事業をいくつ始めても継続しなければ意義は半減します。今年度RIテーマ「ロータリー（職業奉仕）を実践し　みんなに豊かな人生を」を念頭に置き、努力してまいりたいと思います。

大迫ガバナーを始め、宮崎県中部分区尾崎ガバナー補佐、第2730地区の各委員長の皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

■西都RC会長　長谷川孝次

私の抱負

平成15年に西都クラブに入会し今年で10年になります。

この10年間華々しい実績を残した過去もなく、また、人を惹きつける強烈な個性があるわけでもありません。ただ地道に活動を続け会員との親睦に努めて参りました。そんな私がクラブの代表としてふさわしいかは疑問でありますが、託された役を一年間精一杯努めてまいりたいと思います。

私どものクラブは現在会員数21名で、ピーク時の半数以下にまで会員が減少し充分な運営資金の確保が難しい状況にあります。今年度、私に課せられた一番の目標。それは多

くのクラブ同様、会員の増強であると考えます。また、永続的な視点から増強を考えた時に求められるのが、魅力あるクラブ運営と公共イメージの強化だと思います。これらの課題を今年度、明るく元気に取り組んで行きたいと思います。

まさに厳しく、苦しい時代であるからこそ、今、真にロータリーの奉仕の精神が求められている時ではないでしょうか。会員一人ひとりの元気と英知と行動力をいただき達成感のある年度としたいと思います。皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

最後にヘミングウェーの言葉を皆様に贈り私の抱負とさせて頂きます。

「元気は困難を切り開く最大の糧である」

■佐土原RC会長　宮原建樹

佐土原ロータリークラブの26代目の会長を務めさせて頂くことになりました。早くも２回目の会長が回ってまいりました。今になっても勉強することばかりですが、自分のためと思い素晴らしい1年間になるよう努めさせて頂きます。どうぞ宜しくお願いいたします。2013～2014のロンD・バートン会長のRIテーマは「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」になりました。また第2730地区大迫ガバナーは「人格の形成と豊かな人生のために、ロータリーと職業奉仕を追究して行こう」と説いておられます。CLP「クラブ活性化計画」を導入しロータリーの基本理念を守りつつ、効果的に自由活発な委員会活動ができる環境を整えるのが、会長の一番の仕事です。また地域社会のニーズを取り上げた企画を実施し成功させる、それがRI会長テーマそしてガバナーテーマの理念、目標に応えるのではないかと思っております。また例会での学びこそが最高で最大の近道であり、例会出席率向上に力を入れたいと思います。佐土原ロータリークラブも昨年度25周年を迎えました、35年目に入りわずかずつではありますが、伝統と誇りを積み重ねつつあります、これから30周年に向かいその伝統と誇りに品格を備えより確かなものにし、素晴らしい和気を含む佐土原ロータリークラブを作り上げていきたいと思います。また35名を超えた会員数も30周年に向って弾みを付けたいと思います。

どうか皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

■高鍋RC会長　石田喜克

ロン・バートンRI会長は、『ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を』とテーマを掲げられました。高鍋ロータリークラブは、創立38年目を迎えようとしておりますが、創立時の先達の求めた理想に少しでも近づくことが可能であれば、大きな変革を追求していきたいと考えております。

入会２年目でクラブ幹事を受け、今回、10年目にして高鍋ロータリークラブ第38代会長を拝命致しました。勉強と実践の連続ですが、50名の会員全員で力を合わせれば『何とかなる』と確信しております。

本年度高鍋ロータリークラブ・テーマは、『みんなで力をあわせて　行動を』とさせて頂きました。

「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に」のラグビー精神をモットーに、キャプテ

ンシーを発揮できるように頑張っていく所存です。

高鍋ロータリークラブの原点は、心の通い合った友情を培いながら、「職業奉仕」の理想をともに学び、実践をして、今日に至っております。そして、時代の変化、ニーズにマッチした「社会奉仕」も実践してこられました。

これからも、五大奉仕にしっかりと向き合い、行動を起こしていく覚悟です。

過去を振り返りながら､時代の変化に対応しつつ前へ進んでいきたいと考えております。

児湯地域で高鍋ロータリークラブの存在感が、今まで以上に増し、脚光を浴び、そして、新入会員が増え続けていくことがクラブ繁栄の１つの要素でもあると思っております。

一人一人の行動が、最終結果としてクラブ全体の評価に繋がります。

例会を重視し、例会に参加したくなるような環境整備にも配慮を致します。

やらなければいけない事は、すぐ行動・実行の心構えで対処して参ります。

この１年間ロータリーを実践いたします！

みなさまの、ご指導・ご鞭撻・実践行動をよろしくお願い申し上げます。

会員よし・家族よし・会社よし・地域よし・世界よし

【なかよし五よしクラブ】

■えびのRC会長　川池光蔵

この度、えびのロータリークラブ第46代会長に就任いたしましたが、責任の重さと不安の思いでいっぱいです。ロータリー歴18年（１年間のブランクあり）その間　会長１回　幹事２回歴任させて頂きましたが、その時より　なお一層の責任の重さを感じています。しかし、役員や理事　会員の皆さんの協力を賜りながら、18年間学んだえびのロータリークラブの伝統を重んじながら精一杯、頑張っていきたいと思います。

2013～2014年度RIテーマは「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」です。皆さんはロータリーの襟ピンを身に着けることを選択しました。これからどうするかは、皆さん次第です、と述べられました。

2730地区　大迫三郎ガバナーは、私たちはロータリーバッチに誇りを持つと同時に、このバッチのもとロータリーを楽しまなくては成りません。ロータリーを即ち職業奉仕を実践し「ミッション・パッション・ビジョン」でロータリーを充分楽しもうではありませんか、と述べられました。

今年度は会員増強を最大目標に掲げます。そして、目標達成のためには例会の充実と会員相互の親睦を計りながら奉仕の心を高め、異業種会員同士で職業奉仕を実践し「ミッション・パッション・ビジョン」でロータリーを楽しめる1年にしたいと思います。

皆様のご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

■小林RC会長　押川公重

小林ロータリークラブ第53代会長の拝命を受けました。昨年度はこれまでいろいろと教えを受け、頼りにして来た当クラブのパストガバナー池田先生が他界され心細いなか、いかにしてこの栄えある、そして伝統ある当クラブを次代に引き継いでいくか、責任の重さを痛感している次第でございます。

さて、本年度の2730地区大迫ガバナーは「ミッション・パッション・ビジョン」の活動規範のもと職業奉仕以下４つの目標を提示されました。

本年度、当クラブとしての基本方針として、私たちもその目標達成に向けて、もう一度ロータリアンとしてステータス認識の必要性をあげたいと思います。すなわち私たちはそれぞれの職域において、地域のリーダーとしてロータリアンに選抜されたはずです。自信と誇りをもって、RI会長のテーマである「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」を念頭にして本年度も頑張りましょう。

本年度の活動目標としては、前年度掲げた５カ年長期計画を踏襲していきますが、そのうち特に、①奉仕プロジェクト（自殺防止対策）の拡大進展　②会員増強（少なくも３名増）

③提携している三次クラブとの交流深耕に取り組んで行きます。

■小林中央RC会長　山下武士

2013～2014　ロンD.バートンＲＩ会長のテーマ

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生をと提唱されました。

私達、小林中央ロータリークラブも本年度創立30周年を迎える事になりました。少ない人数ではありますが、内容は大きなクラブに負けないように頑張って行動したいと思います。

①2014年１月19日　創立30周年記念式典

②会員増強　少なくても２名純増したい。（女性会員を含む）

③初心に帰りクラブの活性化をめざす。

④ミッション＝任務・使命をしっかりもって

パッション＝情熱をもって

ビジョン＝将来に対する夢をもって

以上の基本をもって行動する

2013～2014年度小林中央ロータリークラブのテーマ

小さな輪を大きな和に広げよう

■都城RC会長　木脇義紹

クラブ基本運営方針

本年度RI会長ロンD・バートン氏のスローガン「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」は、私の最も共感する考えであります。

一方、私のクラブの方針もロータリーの原点である「良いことをしよう」を掲げたい。ガバナーが言うように朝、目覚めたら今日一日一善、何か「良

いことをしよう」と決意することです。挨拶を明るく、元気良くすること、ゴミを一つ拾うこと､仕事を一生懸命すること､友と楽しく話すこと､ロータリー例会に出席すること等、何でもいいから実践することが大事です。その行為そのものがロータリーが目指す、奉仕の精神、高潔性、人格の形成につながり豊かな人生につながると信じています。

クラブの運営については、本年度よりCLPを導入し、組織を次のように変更しました。組織はクラブ運営、会員増強、奉仕、広報、新世代、財団委員会の六つの委員会に分けました。各々の委員長の権限拡大と目標樹立、途中でのチェックと検証をし、クラブの活性化を計りたい。

特にクラブ運営ではプログラム、出席、親睦に力点を置きたい。増強では他クラブでは苦労しているようだが、当クラブでは全然心配していない。何故ならクラブには地域でのすばらしい人材が集まっておりすばらしい人格、高潔性、倫理観をもった人々がいると自負しているからです。魅力あるクラブです。勿論、目標はオリエンテーションと教育を重視し５・６人の増加を目指し、品格ある職業人を探求する積りです。奉仕委員会は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕を中心にし、尚かつ年度中に「職業奉仕とロータリー」についてのイベントを行ない、広く地域の人々にロータリーの存在を訴えたい。広報委員会は、ロータリーの活動を機会ある毎に新聞・テレビに取り上げてもらい、これ又、ロータリーの活動を広く世間に知らしめ、ロータリーのブランド力を高めたい。

新世代委員会は、従来通り、ロータアクト・インターアクトを充実し、若い世代の人材育成に努める積りです。

最後に財団委員会は、ロータリー財団、米山奨学会、教育基金の趣旨を良く会員に知らしめ、寄附する行為そのものが社会に対し、世界に対し奉仕している実感を自覚してもらうよう努力する。

いずれにしても最終的には、クラブの活性化を計り、ロータリアンとしてのステータスと満足感を感じてもらって、明るく元気良く豊かに人生を過ごしてもらえるよう頑張ります。　　以上

■都城北RC会長　佐伯浩一郎

『入りて学び、出でて奉仕せよ』

Enter to learn, Go forth to serve

この言葉は、アナハイムの国際協議会の会場入口前に掲げられました。世界各地のトップリーダーのロータリアンがこの言葉を目にしたわけです。すなわちこの言葉はロータリアンとなる基本ではないのでしょうか。

私はよく「ロータリーでは誰も何も教えてくれない」と言う言葉を耳にします。私もそう思います。しかし、今回会長をさせて頂くにあたりロータリーは『入りて学び』だと言う事が解りました。

本年このテーマの元で、縁あって入会した皆さんと共にロータリーを学んで行きましょう。そして我々都城北クラブ会員が地域はもとより世界に大きく貢献している事を自覚し、自らの参加意識をもって実行しましょう。

ロータリーを学び・目的を理解し・奉仕を実践するクラブ会員がロータリアンと言える

と思います。ロータリーバッジに誇りを持つ多くのロータリアンがいる、クラブを目指して！！

事業計画

1．職業奉仕の基本である「四つのテスト」を北クラブの全会員が事業所に掲示する様に指導する。

2．新入会員の為のマニュアルを作成する。

3．全員参加の研修パーティーの開催（情報集会・企画会議）

■都城西RC会長　高橋五男

2013-2014年度の都城西ロータリークラブの会長を仰せつかりました。第39代目の会長になり、これまで諸先輩方が築いてこられた当クラブの伝統をしっかりと引継ぎ、なお発展させていきたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

まず、ここ10年間で20名余り減少し続けている我がクラブの深刻な会員減少問題に危機感を持ち、会長、幹事が中心になり理事役員と会員増強委員長の協力をもらいながら会員増強に取組み対処していきたいと考えております。

今年度のクラブテーマを「会員増強・そして楽しもう。」と掲げました。

会員数が増えることによって新鮮な感覚を取り入れ、クラブの活性化が図られ全体の雰囲気が若返り、活力が出て来ると思います。

今後、入会予定者の中に３～４名程ゴルフ愛好者がいらっしゃいますので、会員増強を最大のテーマとして懇親会等の活動も大事にしていきたいと考えております。そして苦しんだ分、努力した分ロータリーを思う存分楽しみたいと思っております。

また、我がクラブは創立40周年記念事業が控えており、予算の準備積立金の捻出も大変な為、会員の皆様のご協力を頂きながら取り組んで参ります。

毎回の例会が楽しい例会になる様、皆様方のご意見ご鞭撻を頂きながら努力して参りますので一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬　具

■都城中央RC会長　橋口康雄

今回、会長を引き受けることになりました。よろしくお願い申し上げます。私たちのクラブでも、会員数が激減して厳しい状況です。

こんな中で、本格的にCLPの導入を前年度から取り入れています。今年度は、さらに充実させるために、17人いたクラブ理事を５人の役員と５人の理事（５委員会）で運営します。各委員会の中で、独自の小委員会を構成して魅力ある年間活動プログラムができました。なかでも、会員増強委員会の復活ともに10名以上の入会を目標に力を入れていきたいと思います。クラブテーマを(よし､｢動こう｣ロータリー）と決めました。魅力のあるクラブは自然に活性化に繋がります。そのためにも、みんなが動くことによって、楽しくなるロータリー活動になればと思っています。長期計画として、カンボジア竹と風の学校の支援事業の継続として、留学生の受入れ。そし

て、創立30周年記念事業に向かって体制作りを目指して行きます。
何事も、会員が一丸となって、ご協力とご理解をいただきながら、一生懸命に努めていきますのでご支援お願いします。

■日南RC会長　田島逸男

今年度当クラブは創立60周年を迎えます。人間で言えば還暦と言う事になります。その様な年度に会長として責任の重さを痛感し、この一年粉骨砕身努力する覚悟です。
技芸の上達の言葉で「守破離」と言う言葉があります。「守」は師についてその流儀を習いそれを守って励むこと、「破」は、師の流儀を極めた後更に洗練させ自己の個性を創造する段階で、「離」とは、今まで学んで身に着けた教えから新たな道を切り開き独自の境地を拓いて後進に教え導くことと言われています。これを日南ロータリーに置き換えると初心に帰り時代に即した新たな第一歩を築く年度であります。そのためには創立当初の先輩諸氏の思いを辿り、故きを温ね新しきを知る「温故知新」の気持ちで運営にあたっていく所存です。
大迫三郎ガバナーは「各クラブは長期目標を設定し、その達成のためには連携と継続が重要だ」と述べられました。すなわちロータリーの役員の任期は1年でありますが、「守破離」の教えをもとに各事業を活性化させていくには、前役員や委員長そして会長エレクトとの密接なコミュニケーションが大切であります。
今年度の私の目標は「ロータリーをもっと易しく」です。会員に対しては情報委員会を通じてロータリー独自の言葉や事業内容を分かり易く伝え、そして一般の皆様にもロータリーを理解していただくようメディアの活用で広報していきたいと思っています。
最後になりますが、2730地区の皆さまからの絶大なるご指導ご協力をお願いしまして就任の挨拶といたします。

■日南中央RC会長　横山　正

クラブテーマ　「にこにこを探そう」
今年度、日南中央ロータリークラブの会長を務めさせていただく横山です。皆様、よろしくお願い致します。
ロータリーの目的、そしてロータリーの理念であるあらゆる職業において高度の道徳的水準を守り、世界の親善と平和を確立することに寄与することを基本に今までの37年間の間築かれた日南中央ロータリークラブの伝統を継承しつつ運営を行っていきます。
しかしながら、我がクラブはフロンティア会員の多いクラブとして皆がんばってきましたが、会員の減少という現状がございます。友人が我が身のように考えるというスタンスが無くなってきているのではないかと思い、本年度のクラブテーマを「にこにこを探そう」とし2013～2014年度をまいりたいと思います。
また、40周年に向けての長期計画を立ててクラブを盛り上げたいと思います。
ロンD.バートンRI会長のテーマであります「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生

を」ですが、テーマどおりみんなが豊かな人生をおくれますよう一致協力してがんばりましょう。

クラブ目標

１．ロータリーの目的を学び、ロータリーを正しく伝えられるロータリアンを目指す。

２．親睦と融和を実践する。

３．会員増強、退会防止につとめる。

４．40周年に向けて、クラブの運営の長期計画を立てる。

知識も経験も浅く、未熟な私でありますが会長職をつとめさせていただくことに感謝して今年一年精一杯勉強させていただきます。

会員の皆様の、ご協力とご支援をよろしくお願い致します。

■串間RC会長　田上俊光

本年度2013～14年の串間ロータリークラブ25代会長を努めることになりました田上です。７年目での会長であり、解からない事ばかりであります。全会員の協力を求めて頑張って参ります。

RI会長ロン・バートンのテーマは「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」であります。一八名の少数である当クラブを活性化するためには、ロータリー仲間のもっている情報と知識を授受することによって、本質的な職業奉仕を学びとる姿勢が肝要であると考えます。奉仕の理念とは何ぞや。奉仕の実践とはどういうものであるのか。ロータリーを楽しむとはどう言う事なのか。原点に立って考え、例会を有意義なものにして行きたいと考えます。会員歴も浅い人が多く、仕事に従事すべき時間を割いて例会に出会頂いているが由に、職業で得られる情報、経験、技量をロータリーでの例会、活動に活かして頂きたい。お互いが学びとる事で友情を深めて頂きたい。私は全会員の職業卓話を取入れる事により、仕事の意義を再確認して、新たな発見が得られる様に取組みます。「之を知る者は、之を好む者に如かず、之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」の如く、まず例会に出席を促し、出席することでロータリーを知りそして理解して色々な情報を得て、ロータリーを好きになり、又自からも情報を与えてみんなで盛り上げる事ができるようなロータリーの運営に努めて参ります。会員の皆様のご協力とご指導を重ねてお願いいたします。

さる12月15日に、
『第２回　地区クラブ研修委員会』と合同で『クラブ研修リーダーのための地区研修会』が開催されました。『第１回　地区クラブ研修委員会』のご報告も合わせてお知らせ致します。

第１回　地区クラブ研修委員会のご報告

地区クラブ研修委員会　委員長　池田豊繁（宮崎中央ＲＣ）
副委員長　川平建次郎（鹿児島西ＲＣ）
委員　上園哲生（鹿児島東南ＲＣ）

会合名：第１回地区クラブ研修委員会
参加者：秦喜八郎・地区研修リーダー、池田豊繁・地区研修委員会委員長、川平建次郎・地区クラブ研修委員会副委員長、田中春敏・地区クラブ研修委員会直前委員長、深尾兼好・地区クラブ研修委員会アドバイザー（直前地区幹事）、柏田直俊・地区クラブ研修委員会オブザーバー（日向ＲＣ会長エレクト）
議　題：①情報の共有
②前年度の活動報告
③今年度の活動計画
経　過：①先ず、「昨年度（田中委員長）実績」が配布された。
（ｉ）地区協議会における「方針の表明」の再確認
（ii）クラブ管理部門会議
（iii）クラブ管理部門合同研修会
（iv）クラブ支援２件（出水ＲＣおよび大口ＲＣ）における「出張卓話」（ＣＬＰ）
（ｖ）「クラブリーダーのための地区研修会」
（vi）分区支援１件（宮崎中部分区内佐土原ＲＣ，西都ＲＣ，高鍋ＲＣの合同研修会）
（vii）新会員のための地区研修会」
②次に、今年度の方針が検討された。
（ｉ）田中委員（直前委員長）が事情によりクラブを退会し、欠員を生じたが、３人体制で運営する。
（ii）今年度は地区事務所から、地区の運営に関する発信が行われないために、地区委員会と地区事務所の連携が取れない丸投げの形である。「地区組織図」が機能していないことを指摘し、今年度は枠外ながら、「研修の必要性」を常時発信される「地区研修リーダー」と連携しながら、委員会を運営することを決定した。
（iii）地区協議会（参加者に配布済み）各クラブに対して「前年度に準じる」旨、発信した。
（iv）前年度に準じた計画の実施することを再確認した。
(a) 地区研修リーダーと委員長の連名で、「クラブ研修リーダーの登録」を要請する。
(b)「クラブ研修リーダーのための地区研修会」：実施する。
(c)「新会員のための地区研修会」：実施する。
(d)「クラブ支援」：クラブからの要請（クラブ⇒分区がバナー補佐⇒地区事務所⇒委員会のルートで申し出ていただく）に沿って適宜実施する。

以上の協議のあと、懇親会を開いて親睦を深め、意思統一が図られた。

第２回　地区クラブ研修委員会のご報告

地区クラブ研修委員会　委員長　池田豊繁（宮崎中央RC）
副委員長　川平建次郎（鹿児島西RC）
委員　上園哲生（鹿児島東南RC）
委員　岡島達雄（高鍋RC）
アドバイザー　深尾兼好（鹿児島西RC）

会合名：第2回地区クラブ研修委員会
日　時：2013（平成25）年12月15日（日）　11：00～12：00
場　所：地区事務所会議室（都城）
参加者：大迫三郎・ガバナー、秦喜八郎・地区研修リーダー、安満良明・規定審議会地区代表議員、山下皓三・直前ガバナー、池田豊繁・地区研修委員会委員長、川平建次郎・同副委員長、岡島達雄・同委員、深尾兼好・同アドバイザー（直前地区幹事）、田中俊實・ガバナーエレクト、村上潤・同オブザーバー（地区幹事エレクト）、伊藤計・同ブザーバー（鹿屋RC会長エレクト）
議　題：①顔合わせ
②第1回地区クラブ研修委員会（宮崎市）の報告
③「研修」に関する自由討論
記　事：
①会合は定刻に開催された。
②先ず、「クラブ研修リーダーのための地区研修会」に関する資料が配布された。
③そのあと、「研修」の必要性、「クラブ細則の見直し」の必要性が共有された。
④「CLPの導入」は、単に「推奨RC細則」を採用するにとどまらず、クラブの管理体制を根本から変更することが周知されていないという意見が多かった。
まとめ：
①今年度は、委員会が地区研修リーダーと連携する旨を報告
②「クラブ研修リーダー」の登録（154名／64RC）に関する報告
③本日の「クラブ研修リーダーのための地区研修会」に関する手順の報告
④「鹿児島西RCのCLP導入」を報告（資料は進行中の一部を配布）
⑤RIは「CLP」を基盤とした体制に移行していることの再確認
⑥今年度は、規定審議会の開催に基づく「クラブ定款・細則の見直し」が必要であることの確認
⑦「新会員のための地区研修会」は、分区（または県単位）ごとに必要という意見が出た。

協議のあと、昼食をとり、「クラブリーダーのための地区研修会」の会場（別室）へと移動した

クラブ研修リーダーのための地区研修会のご報告

地区クラブ研修委員会　委員長　池田豊繁（宮崎中央ＲＣ）
副委員長　川平建次郎（鹿児島西ＲＣ）
委員　上園哲生（鹿児島東南ＲＣ）
委員　岡島達雄（高鍋ＲＣ）
アドバイザー　深尾兼好（鹿児島西ＲＣ）

会合名：クラブ研修リーダーのための地区研修会
日　時：２０１３（平成２５）年１２月１５日（日）　１３：００～１６：００
場　所：地区事務所会議室（都城）
役　員：大迫三郎・ガバナー、秦喜八郎・地区研修リーダー、安満良明・規定審議会地区代表議員、山下皓三・直前ガバナー、池田豊繁・地区研修委員会委員長、川平建次郎・同副委員長、岡島達雄・同委員、深尾兼好・同アドバイザー（直前地区幹事）、田中俊實・ガバナーエレクト
参加者：クラブ研修リーダー、有志および地区役員　総計８２名

研修１.（３０分）「国際ロータリーの方向性」：安満ＰＤＧは、参加資料を基に「クラブ細則」に盛り込まれるべき事項を示す「標準ロータリークラブ定款」について、改正点の要約を説明された。手続要覧の日本語版発行は、年明けになる模様。

研修２.（３０分）「地区の方向性」：山下ＰＤＧは、「ロータリーの目的」、「ＲＩの戦略計画の理念」および「第 42 回ロータリー研究会資料」等を基に、新しいロータリーのあり方について、地区とクラブの連携を強調された。

研修３.（３０分）「ＣＬＰを学ぶ」：深尾直前地区幹事は、ＣＬＰに関するアンケートの分析をはじめ、鹿児島西ＲＣのＣＬＰ導入に至る経緯を説明された。現在ＣＬＰを導入されたクラブは３６ＲＣに増加した。

休憩　（１０分）

研修４.（１５分）「クラブ細則を見直す」：秦ＰＤＧは、「クラブの運営と活動は、クラブの細則に基づくものである。」、「年度ごとに見直しが必要。」、「今年度は規定審議会が開催されたので、改定作業が必要。」等、懇切な説明をされた。

研修５.（１５分）「ロータリーのイメージ活性化、」：水居地区公共イメージ部門長は、
①国際ロータリーのホームページは、大幅にリニューアルをされた。
②中黒の廃止（「ロータリー・クラブ」は「ロータリークラブ」とする。）
③ロータリーのロゴに関する規定が改訂された。等を解説された。

和やかな雰囲気の中、参加者は各講師の解説を熱心に聞いた。各クラブの取り組みが期待される。

ロータリーロゴの使用方法が変わります

ロータリー財団

第 2730 地区ロータリー財団　委員長　　赤塚晴彦

鹿児島サザンウインドロータリークラブ会員　川原篤雄氏が、会社の創業40周年を記念して、各種慈善団体へ総額50万円寄付されました。その中に、ロータリー財団と米山記念奨学会があります。自ら起業し40年の節目に、寄付したい旨申し出がありましたので、クラブの担当委員会で受け取り、地区担当部門経由で、ロータリー財団と米山記念奨学会へ振り込み、寄付致しました（写真別添)。Evanstonロータリー財団からは、李　東建　ロータリー財団管理委員長（元・RI会長）とロン・バートン(Ron　D.Burton)RI現会長連名で感謝状を頂きました。また米山記念奨学会としては、庄司教克

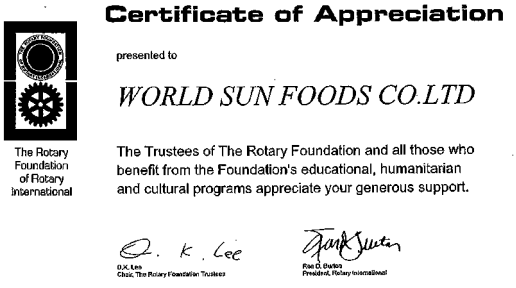
鹿児島サザンウインドロータリークラブ会長と松田　泉　クラブロータリー財団部門リーダー（米山記念奨学会委員会及びロータリー財団委員会）連名で感謝状を授与致しました。

Evanstonからの感謝状は異例ですが、今後法人企業からの寄付を増やしていきたいとの意向も有り、贈られました。

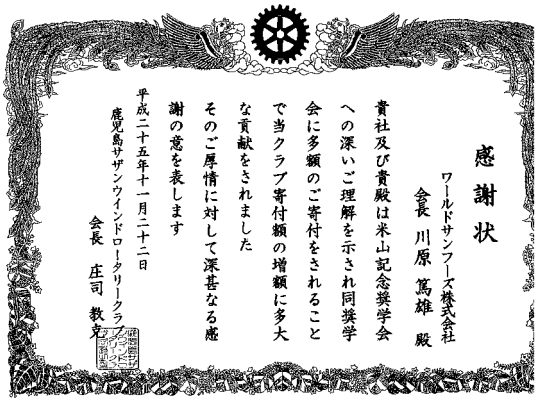
① 川原篤雄会員に関する事項：
鹿児島サザンウインド
ロータリークラブ会員（チャーターメンバー）
第五代会長
ポールハリスフェロー、
マルティプルポールハリスフェロー、
ベネファクター、
米山功労者。
地区出席推進委員会委員長（2013-14年度）
地区職業奉仕委員会委員長(2010-11年度)
鹿児島市内分区ガバナー補佐（2005-06年度）

② 法人寄付額
ロータリー財団　100,000円
米山記念奨学会　100,000円

③ 法人企業の紹介
会社名：ワールドサンフーズ株式会社
ロータリー職業分類：飲料水配布
(〒891-0122)鹿児島市南栄3丁目30番10号
電話：099-268-0222　　Fax:099-260-8583
役職：取締役会長
40周年式典：平成25年11月22日(金)



▲R財団から川原会員への感謝状

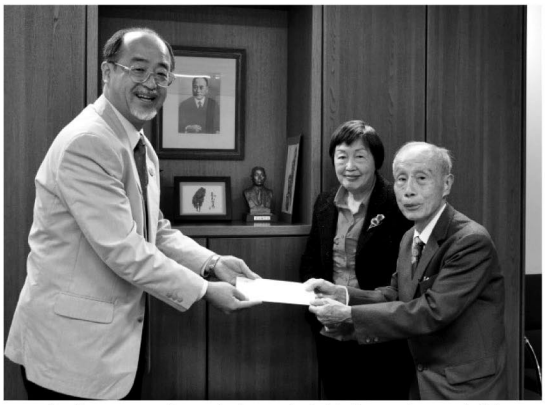


▲クラブから川原会員への感謝状

米山学友会報告

47 年後の恩返し ― 台湾の学友・鐘維源さん ―

台湾から、米山学友の鐘 維源さん（1966-67／堺ＲＣ）が 11 月 27 日、事務局を訪問してくださいました。鐘さんはなんと今から 47 年前の奨学生で、82 歳だそうです。当時は航空券を買うお金もなく、12 人乗りのバナナボートで来日。東京農工大学で学んだ後、大阪大学大学院へ進学し米山奨学生となりました。「社長さんなど偉い方ばかりで、私は上手な日本語も話せず、例会では小さくなっていた」と、当時を振り返る鐘さん。現在は奥様とともに台湾で高分子化学の会社を営んでいます。



事務局長に寄付金を手渡す鐘さん（右）と奥様

また、鐘さんは亡くなったお兄さんを記念して奨学金制度を作り、高校生約 10 人を毎年支援するなど、社会貢献をモットーとしています。2011 年の東日本大震災の時には、会社の１ヶ月分の売り上げを義援金として送ってくださったそうです。そして今回、「日本のみなさんに恩返しをしたい」と、米山奨学会へ 10 万円ものご寄付をしてくださいました。

鐘さんからのメッセージ

学業に限らず、日本の文化、社会、日本人の卓越なる道徳、社会に貢献する精神、礼儀作法等多くのことを留学の成果として、台湾に持ち帰りました。以来、逆境の中でなんとか頑張っています。私はロータリアンではありませんが、社会に対する貢献、奉仕の精神は今でも堅持しています。ありがとうございます。

女性会員活性化委員会
（なでしこ 2730 委員会）からのご報告

第2730地区女性会員活性化委員会　委員長

髙木ツヤ子

地区大会では、私共の募金活動に対し皆様より暖かいご協力を賜り、誠にありがとうございました。

地区事務所におきまして10月30日（水）に都城地区の女性会員・小坂　恭子（都城中央ＲＣ）、栢木　順子（都城中央ＲＣ）、山﨑照代（都城中央ＲＣ）、田村　香代子（都城中央ＲＣ）、中村　かよ（都城北ＲＣ）の立会の元、募金箱の開封・集計を致しました。募金総額は￥268,478でありましたことをご報告致します。

当委員会では今年度も東北震災被災地訪問を予定しております。募金はその際、被災者の皆様のために有効にご活用頂けるよう義捐金として、被災地へお届けしたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

十七土寸十 イ日 ニロ

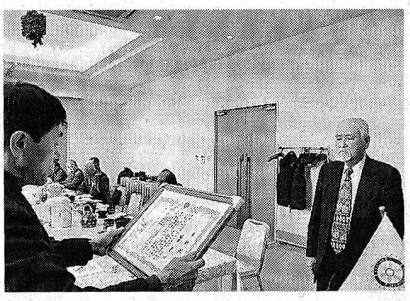
まがたま賞を 竹下さん受賞

西都ロータリークラブ（長谷川孝次会長、21人）が地域社会に貢献した個人・団体に贈る「まがたま賞」に、都於郡城史文化研究会会長の竹下勇さん(77)＝西都市山田＝が選ばれた。

竹下さんは2005年に同会を設立。都於郡城を居城とした伊東家や天正遣欧少年使節としてローマ法王と面会した伊東満所を研究し、市内外で講演活動も行っている。

表彰式は3日、同市であり、長谷川会長が表彰状を授与＝写真。竹下さんは「混沌（こんとん）とする現代だからこそ、満所のような青少年が育ってほしいと研究を続けてきた。受賞に感激している」と喜びを語った。

まがたま賞は、同クラブの職業奉仕、社会奉仕賞を統合し、02年に創設。竹下さんを含め7個人、1団体を表彰している。



▲平成25年12月7日（土）
宮崎日日新聞

高齢者施設慰問40年

宮崎市・千葉さん

美声、演奏 利用者癒やす

宮崎市大塚町の自営業千葉百合子さん(71)は、市内の高齢者施設の慰問を続けて40年。月1回、プロ仕込みの美声とアコーディオン演奏で利用者を楽しませる。千葉さんは「皆さんが喜んでくれる。元気なうちは続けたい」と意気盛んだ。

慰問を始めたのは1973(昭和48)年。かつてプロの歌手として活動し、アコーディオンも演奏できることが見込まれ、あるボランティア団体から「慰問に行ってほしい」と依頼があったことがきっかけだった。慰問先の「カリタスの園松の寮」（眞浦チヨミ施設長）は、当時千葉さんの長男と長女が通う幼稚園に隣接していた縁もあり、快諾した。

訪問は月1回の誕生会。自身が主宰するカラオケ教室の生徒と一緒に歌ったり、利用者が好きな歌を伴奏したりして過ごす。イタリア製のアコーディオンで演奏できる曲は2300曲以上。利用者の突然のリクエストにも楽譜なしで対応してしまう。

「皆さん、元気でしたか」「うまいうまい。よく覚えてるね」。冗談交じりの千葉さんの呼び掛けに「はーい」と返事をした利用者の押川サワ子さん(81)は「楽しさで大きな声が自然と出た」、伴奏に合わせて気持ちよく歌った大鮮國一（だいせんくにいち）さん(83)も「アコーディオンの音色が何ともいい」と喜んでいた。

飲食店を経営しているため仕事が深夜まで及ぶが、松の寮以外の施設に足を運ぶことも。「私も年齢を重ね、年下の利用者も出てきてしまった」と苦笑いする千葉さん。それでも「誕生会を楽しみにしてくれている利用者がいるので、体調管理にも気を付けている」と話している。

帰り際、「元気でね」と利用者と握手を交わす千葉さん（右）

▲平成25年8月3日（土）
宮崎日日新聞

◆鹿屋西ロータリークラブがテーブル寄贈
10月21日、鹿屋市浜田町のかのやばら園に、同園から希望のあったガーデンテーブルセット5組を贈った。クラブ例会に合わせ寄贈式を実施した。北山勉会長(61)は「高齢者や障害者に優しい施設として、活用してほしい」と話した。

▲平成25年11月6日（水）
南日本新聞

ロータリアンの皆様のご活躍の情報をお寄せ下さい。
第2730地区の方々へ広くお知らせし、各クラブの参考とさせて戴きます。

RI第2730地区　11月出席率報告

地区	クラブ	出席率 %	会員数 13/7/1	会員数 11月末	女性	増減
宮崎県北部	延岡	70.71	75	77	7	2
	延岡東	99.30	51	51	2	0
	延岡中央	90.20	54	55	5	1
	日向	61.22	20	20	1	0
	日向東	89.06	30	32	7	2
	日向中央	82.14	14	15	1	1
	門川	91.67	7	6	0	−1
(7RC)	平均及び合計	83.47	251	256	23	5
宮崎県中部	宮崎	94.66	100	99	6	−1
	宮崎西	88.15	81	85	7	4
	宮崎北	90.63	68	73	8	5
	宮崎南	79.25	35	37	4	2
	宮崎中央	79.23	46	46	7	0
	宮崎東	81.82	22	23	1	1
	西都	93.83	20	21	2	1
	佐土原	81.25	24	26	4	2
	高鍋	92.31	48	47	1	−1
(9RC)	平均及び合計	86.79	444	457	40	13
宮崎県西部	えびの	82.14	22	21	4	−1
	小林	86.02	32	34	1	2
	小林中央	97.50	10	10	0	0
	都城	88.75	49	51	5	2
	都城北	93.18	45	46	5	1
	都城西	82.74	46	47	2	1
	都城中央	77.20	31	35	4	4
(7RC)	平均及び合計	86.79	235	244	21	9
宮崎県南部	日南	93.55	32	33	1	1
	日南中央	97.91	11	13	0	2
	串間	80.56	18	18	1	0
(3RC)	平均及び合計	90.67	61	64	2	3
鹿児島県北部	出水	77.99	44	42	3	−2
	阿久根	84.18	49	53	10	4
	川内	82.00	54	56	0	2
	薩摩川内	79.00	26	26	4	0
	串木野	82.14	7	7	0	0
	宮之城	84.62	14	13	3	−1
	大口	89.28	21	21	2	0
(7RC)	平均及び合計	82.74	215	218	22	3
鹿児島県西部	伊集院	69.90	27	28	2	1
	加世田	81.25	2	4	0	2
	枕崎	80.70	19	20	1	1
	頴娃	75.00	26	28	0	2
	指宿	77.59	28	29	1	1
(5RC)	平均及び合計	76.89	102	109	4	7
鹿児島県中部	霧島	56.00	19	20	0	1
	国分	64.90	51	52	9	1
	国分中央	70.97	28	31	3	3
	加治木	93.06	36	36	3	0
	姶良	78.33	17	17	1	0
(5RC)	平均及び合計	72.65	151	156	16	5
鹿児島県東部	鹿屋	84.44	45	47	3	2
	串良	81.44	36	34	0	−2
	鹿屋西	91.33	60	59	11	−1
	志布志	59.37	23	26	4	3
	かのや東	89.44	40	43	0	3
	きもつき	70.67	25	26	0	1
	南九州大崎	64.17	25	25	0	0
	志布志みなと	61.26	34	36	1	2
(8RC)	平均及び合計	75.27	288	296	19	8
鹿児島県市内	鹿児島	70.27	54	61	0	7
	鹿児島南	68.85	40	41	3	1
	鹿児島西	86.51	75	77	0	2
	鹿児島東南	71.55	31	31	0	0
	鹿児島中央	74.10	58	59	4	1
	鹿児島西南	88.89	12	12	1	0
	鹿児島城西	79.80	35	35	3	0
	鹿児島東	74.07	24	26	2	2
	鹿児島北	80.00	27	31	3	4
	鹿児島サザンウインド	87.23	43	47	9	4
(10RC)	平均及び合計	78.13	399	420	25	21
鹿児島県奄美	奄美	67.43	56	56	0	0
	奄美中央	74.87	52	53	4	1
	奄美瀬戸内	71.71	24	25	1	1
(3RC)	平均及び合計	71.34	132	134	5	2
	全体の平均及び合計	80.47	2,278	2,354	177	76

（出席率グラフ基準線：50、80.47）

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

11月の寄付金傾向

１１月分合計額　　137,030,452 円
累計額　　649,247,467 円　（前年同期比 396 万円増）

参考　前年度 11 月分合計額：144,589,868 円、累計額：645,288,044 円

普通寄付金

11 月当月　　3,559,250 円
11 月末累計　　216,889,008 円
（前年度比　0.17%減）
（　〃　　36 万円減）
（予算達成率 54.2%）

普通寄付金上期分は 1,989 クラブ（87%）から納入されました。（内、年額納入は 326 クラブ 16%）18 地区が納入割合 90%を超えました。（昨年度も 18 地区）12 月中に上期分のご送金が難しい場合には、翌年の 1 月に入ってから下期分と一緒にご寄付ください。よろしくお願いします。

★普通寄付金納入状況・上期分（納入数/ｸﾗﾌﾞ数）

地区	納入数/ｸﾗﾌﾞ数	納入割合	地区	納入数/ｸﾗﾌﾞ数	納入割合
2500	49/66	74%	2610	62/66	94%
2510	46/71	65%	2620	66/78	85%
2520	52/81	64%	2630	75/80	94%
2530	63/68	93%	2750	79/86	92%
2540	25/42	60%	2760	79/83	95%
2550	43/50	86%	2780	61/63	97%
2560	50/57	88%	2640	54/71	76%
2570	完納	100%	2650	84/96	88%
2770	70/76	92%	2660	77/83	93%
2790	75/84	89%	2670	64/74	86%
2800	50/51	98%	2680	70/73	96%
2820	50/58	86%	2690	64/67	96%
2830	32/41	78%	2700	57/61	93%
2840	45/46	98%	2710	69/74	93%
2580	66/71	93%	2720	49/74	66%
2590	完納	100%	2730	50/64	78%
2600	51/55	93%	2740	49/57	86%

合計：納入数 1,989RC
地区ロータリークラブ数　2,280RC
普通寄付納入実績 11 月 30 日現在、当会入金分

特別寄付金

11 月当月　　133,471,202 円
11 月末累計　　432,358,459 円
（前年度比 1.01%増）
（　〃　　432 万円増）
（予算達成率 48.0%）

11月末累計額は前年同期比 1.01%増、約 432 万円の増加となりました。また前年度との単月比較では 450 万円ほど減少しましたが、累計額では直近 5 年間では最高額となりました。

☆ 創立記念寄付　（単位：万円）

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2620	富士	20	2780	津久井中央	10
	浜北	5	2710	広島中央	10
2750	東京調布	10	合計	5 クラブ	55

☆ ガバナー公式訪問　（単位：万円）

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2590	川崎マリーン	10	2590	横浜戸塚中央	10
	新横浜	10		横浜戸塚東	10
合　計		4 クラブ		40	

☆ 地区大会

D2550　25 万円　D2790 10 万円　D2780　20 万円

☆ 高額寄付者（一度に 100 万円以上の寄付）

D2500　北見 RC　藤田一清氏 100 万円　累計 130 万円
D2520　仙台平成 RC 大内トヨ子氏 200 万円
　累計 1,210 万円
D2580　東京小石川 RC 平野正俊氏　100 万円
　累計 500 万円
D2760 名古屋中　故谷口次郎氏 100 万円　累計 130 万円

☆ 高額寄付法人（一度に 100 万円以上の寄付）

D2760　サンコーリサイクル株式会社　100 万円
累計 100 万円【名古屋東山 RC：金田英和氏】
D2700　岡城産業（株）　100 万円
累計 1,200 万円【福岡南 RC：富永　泰氏】

☆ 学友寄付者

＊莎　日　娜氏（中国/2007-2008 年/茨城大学大学院/土浦南 RC）100,000 円　累計 100,000 円
＊鐘　維源氏（台湾/1966-1967 年/大阪大学大学院/堺 RC）100,000 円　累計 100,000 円

文庫通信（316号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万３千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

★★★★ 地区大会祈念講演より ★★★★

◎「友を選ばば」　佐藤千壽　東京東R. C.　1994　27p
◎「ロータリーのこころ」　佐藤千壽　1997　65p
◎「脚下照顧」　佐藤千壽　東京足立R. C.　1997　59p
◎「ロータリーと禁欲の倫理」　佐藤千壽　大分R. C.　1991　59p
◎「言葉は人生の杖」　佐藤千壽　2003　39p
◎「職業倫理」　佐藤千壽　東京東R. C.　1992　64p
◎「窓を開くロータリー　広報資料」　前原勝樹　1985
◎「広報」　津田 進　1988
◎「三つの山脈」　津田 進　千曲川R. C.　2002　40p
◎「前原ガバナー講話集」　D.355　－　87p
◎「ロータリー廣報乃王道」　佐藤千壽　D.2780　1997　34p

ロータリー文庫
〒105－0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL. 03-3433-6456 ・ FAX. 03-3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時　　休館＝土・日・祝祭日

入退会報告

11月30日現在分

●入会者

ご入会、おめでとうございます。

■神崎秀輔　（姶良ＲＣ）
■持田　正　（伊集院ＲＣ）
■北山有作　（伊集院ＲＣ）
■大場　司　（頴娃ＲＣ）
■赤星幸男　（国分ＲＣ）
■吉屋大輔　（かのや東ＲＣ）
■木浦　等　（かのや東ＲＣ）
■藤島博仁　（志布志みなとＲＣ）
■宮脇伸舟　（鹿児島北ＲＣ）
■伊比禮健二　（奄美中央ＲＣ）
■當　力雄　（奄美中央ＲＣ）
■仲村　彬　（奄美瀬戸内ＲＣ）
■西盛　徹　（日向東ＲＣ）
■稲倉　隆　（宮崎西ＲＣ）
■榎木田智子　（宮崎西ＲＣ）
■伊豆隆夫　（宮崎北ＲＣ）

合計16人

●退会者

お疲れ様でした。

■渡辺　肇　（伊集院ＲＣ）
■瀬口俊二　（薩摩川内ＲＣ）
■田中一年　（国分ＲＣ）
■石原久子　（鹿児島東ＲＣ）
■河野芳輝　（宮崎西ＲＣ）
■杉尾義秀　（高鍋ＲＣ）
■蔵満章一　（都城北ＲＣ）
■錦織信貴　（鹿児島ＲＣ）

合計８人

お詫びと訂正

先月号の物故会員　竹内様のご紹介の欄で、『竹内病院』と表記すべきところ誤って『竹中外科病院』と表記した誤植がございました。ご関係者の方々へ大変ご迷惑をお掛けしました。謹んでお詫び申し上げます。

国際ロータリー第2730地区
2013－2014年度
ガバナー　大迫三郎

ガバナー事務所
〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田ビル3階
TEL.0985-61-7728　FAX.0985-61-7735

ダイワファンドラップ

あなたにあった資産運用をプロと二人三脚で。

大和証券

Daiwa Securities

大和証券におまかせください。

「ダイワファンドラップ」は、
投資一任契約のもと大切なご資産を
お客さまに代わって運用管理します。

- 機関投資家の運用ノウハウを活用します。
- 世界の資産に分散投資します。
- 運用管理に手間がかかりません。
- 売買ごとの手数料は発生しません。

最適なポートフォリオを提案

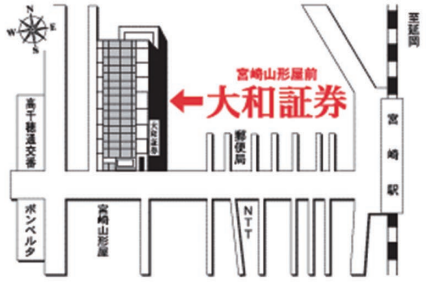
お客さまのご意向とリスク許容度に応じて、
最適なポートフォリオが見つかります。

ファンドラップ
FUND WRAP
という資産運用を
ご存知ですか？

こんなお悩みをお持ちの方

- Q. 投資をしてみたいけど何を選んだらいいかわからない
- Q. 忙しくて投資に費やす時間がない
- Q. 自分に合った資産配分がわからない
- Q. 退職金を定期預金に預けているけど、金利が物足りない

大和証券株式会社　宮崎支店



〒880-0805　宮崎市橘通東4丁目6番30号

☎(0985)29-5211

ダイワファンドラップの魅力について詳しくは、インターネットで　ダイワファンドラップ　検　索

[お取引にあたっての手数料等およびリスク等について]

●「ダイワファンドラップ」にてお客さまにお支払いいただく費用（ファンドラップ・フィー）は、契約資産の時価評価額に対して最大 1.47%（年率、税込）となります。●その他に、ダイワファンドラップ専用投資信託および同投資信託の投資対象たる他の投資信託に係る信託報酬の合計が純資産総額に対して概算で 1.10%±0.25%（年率、税込）かかります。さらに、運用状況等に応じこれら投資信託の監査費用等が別途必要となりますが、事前にその料率・上限額等を示すことはできません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。●投資一任契約とは、当事者の一方が、相手方から、金融商品の価値等の分析に基づく投資判断の全部又は一部を一任されるとともに、当該投資判断に基づき当該相手方のための投資を行なうのに必要な権限を委任されることを内容とする契約です。●「ダイワファンドラップ」は、投資一任契約に基づきダイワファンドラップ専用投資信託に係る受益証券を対象とした投資運用を行なう取引です。そのため、運用成績はダイワファンドラップ専用投資信託の価格変動に応じて変化します。したがって、契約資産の額（元本）が保証されるものではなく、これを割込むことがあります。また、運用による損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。●ダイワファンドラップ専用投資信託は、主として、国内外の株式、債券、リート（ＲＥＩＴ）、コモディティ（商品先物取引等）、および株式先物等派生商品を実質的な投資対象とする複数の投資信託受益証券等に投資しますので、その基準価額はこれら実質的な投資対象の価格などに応じて大きく変動します。なお、これら実質的な投資対象のうち外貨建資産に関しては為替リスクが存在します。●お客さまに「ダイワファンドラップ」による運用をご提案する際に「契約締結前交付書面」をお渡しいたしますので、お申込み前によくお読みください。●「ダイワファンドラップ」をお申込みの際には、「ダイワファンドラップ投資一任契約書（兼 契約締結時交付書面）」「ダイワファンドラップ口座約款」等で契約内容をご確認ください。

商号等：大和証券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号　　加入協会　日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会